Speed Wi-Fi HOME 5G L14

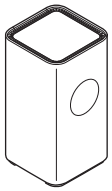
User Guide 取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

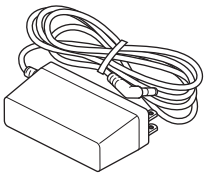
このたびは、Speed Wi-Fi HOME 5G L14(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、『取扱説明書 詳細版』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

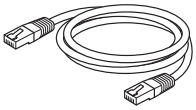
ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



● Speed Wi-Fi HOME 5G L14本体



● ACアダプタ



● Ethernet ケーブル(試供品)

● Wi-Fi初期設定(シール)
● はじめてガイド
● ご利用にあたっての注意事項(保証書)

memo

◎本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

本製品の取扱説明書として、同梱の『はじめてガイド』および『ご利用にあたっての注意事項(保証書)』、Speed Wi-Fi HOME 5G L14ホームページで提供の『取扱説明書 詳細版』(本書)をご用意しております。また、本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

■はじめてガイド／ご利用にあたっての注意事項(保証書)

初めてお使いになる前に必要な情報や注意事項を説明しています。

■取扱説明書 詳細版(本書)

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、Speed Wi-Fi HOME 5G L14ホームページ※でご確認できます。
https://www.ztedevices.com/jp/product/speed-wi-fi-home-5g-l14/







※UQ WiMAXホームページからもダウンロードできます。
https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/



・『取扱説明書 詳細版』(本書)は、WebUIからもご覧いただけます。
本製品とパソコンなどを無線LAN(Wi-Fi®)またはEthernet ケーブル(試供品)で接続→Webブラウザを起動→アドレス入力欄に「http://speedwifi-home.5g/」と入力→画面上部の「取扱説明書」をクリック
※アドレス入力欄に「http://192.168.0.1」と入力してもログイン画面を表示できます。

■For Those Requiring English Instruction Manuals
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of "Quick Start Guide" and "Notes on usage" from the Speed Wi-Fi HOME 5G L14 website※ (available from approximately one month after the product is released).
『はじめてガイド』(英語版)および『ご利用にあたっての注意事項』(英語版)をSpeed Wi-Fi HOME 5G L14ホームページ※に掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
https://www.ztedevices.com/jp/product/speed-wi-fi-home-5g-l14/

※Also available on the UQ WiMAX website (available from approximately one month after the product is released).
UQ WiMAXホームページからもダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。
https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/

■致需要中文版《使用说明书》的用户
中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

《快速指南》(中文版)及《注意事项》(中文版)已发布在Speed Wi-Fi HOME 5G L14官网※上(发售起约1个月后)。
『はじめてガイド』(中国語版)および『ご利用にあたっての注意事項』(中国語版)をSpeed Wi-Fi HOME 5G L14ホームページ※に掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
下载连接:
https://www.ztedevices.com/jp/product/speed-wi-fi-home-5g-l14/

※也可以从UQ WiMAX官网下载(发售起约1个月后)。
UQ WiMAXホームページからもダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。
https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/

■한국어판 『사용 설명서』가 필요한 분들께
韓国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

『처음 사용 가이드』(한국어판) 및 『사용 시 주의사항』(한국어판)은 Speed Wi-Fi HOME 5G L14 홈페이지※에 확인하실 수 있습니다(제품 출시 약 1개월 후부터).
『はじめてガイド』(韓国語版)および『ご利用にあたっての注意事項』(韓国語版)をSpeed Wi-Fi HOME 5G L14ホームページ※に掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
다운로드 URL:
https://www.ztedevices.com/jp/product/speed-wi-fi-home-5g-l14/

※UQ WiMAX 홈페이지에서도 다운로드할 수 있습니다(제품 출시 약 1개월 후부터).
UQ WiMAXホームページからもダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。
https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/

本書の表記方法について

■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[通信モード]→[スタンダードモード]／[プラスエリアモード]	ホーム画面を上にスワイプし、表示された画面で「設定」をタップし、必要に応じて画面を上下にスワイプして「通信モード」をタップしたあと、「スタンダードモード」または「プラスエリアモード」をタップします。
ホーム画面でメニュー一覧の[ネットワーク]→[動作モード]	WebUIのホーム画面左側にあるメニュー一覧で「ネットワーク」をクリック(スマートフォンの場合はタップ)します。表示された一覧から続けて「動作モード」をクリック(タップ)します。

・スワイプ／タップについて詳しくは、「タッチパネルの使いかた」(▶P.18)を参照してください。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書は特に記載のある場合を除き、UQ WiMAXのSIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。
本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。

memo

◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ……1
同梱品一覧……1
取扱説明書について……1
本書の表記方法について……1
目次……2

注意事項……3
本製品のご利用について……4
安全上のご注意(必ずお守りください)……4
材質一覧……6
取り扱い上のご注意……6
無線LAN(Wi-Fi®)機能について……7
2.4GHz帯ご使用上の注意……7
5GHz帯ご使用上の注意……7
PINコードについて……7
データ通信料についてのご注意……7

ご利用の準備……9
ご利用になる前に……10
設置場所について……10
各部の名称と機能……11
ディスプレイ表示とボタン操作……12
SIMカードについて……13
SIMカードを取り付ける／取り外す……13
SIMカードを取り付ける……13
SIMカードを取り外す……13
電源を入れる／切る……14
電源を入れる……14
電源を切る……14
ディスプレイの消灯／点灯について……14
工場出荷状態に戻す(リセット)……15
スマートフォンなどの通信機器との接続……15
本製品の便利な機能……16
動作環境……16

基本操作……17
基本操作……18
タッチパネルの使いかた……18
基本的な操作……18

無線LAN(Wi-Fi®)接続／LAN接続……21
無線LAN(Wi-Fi®)で接続する……22
無線LAN(Wi-Fi®)機能について……22
Wi-Fi名について……22
5GHz帯の使用について……22
Wi-Fi接続について……23
QRコードを読み取って接続する……23
スマートフォン(Android OS搭載端末)を接続する……23
iPhone／iPadを接続する……23
WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する……24
手動設定で接続する……24
スマートフォン(Android OS搭載端末)を接続する……24
iPhone／iPadを接続する……25
Windowsパソコンを接続する……26
Macを接続する……28
LAN接続する……29
LAN接続について……29
WindowsパソコンとLAN接続する……29
Windowsパソコンに取り付ける……29
Windowsパソコンから取り外す……29
MacとLAN接続する……29
Macに取り付ける……29
Macから取り外す……29

機能設定……31
ディスプレイメニューについて……32
Wi-Fi……32
QRコードで接続する……32
WPS機能を利用して接続する……33
Wi-Fi設定お引越し機能を利用して接続する……33
本製品のWi-Fi名／パスワードを確認する……34
情報……35
データ使用量を確認する……35
本体情報を確認する……36
WebUIへの接続方法を確認する……36
設定……37
セキュリティ方式を設定する……37
Wi-Fi周波数を設定する……37
ゲストWi-Fiを利用する……38
動作モードを設定する……38
モバイルデータを利用する……38
通信モードを設定する……39
ネットワークモードを設定する……39
PINロックを利用する……39
APNを切り替える……40
画面オフ時間を設定する……40
表示言語を設定する……41
ソフトウェアを更新する……41
再起動する……41
工場出荷状態に戻す……41
WebUIについて……42
WebUIを起動する……42
WebUIにログインする……43
各種機能の詳細設定をする(設定)……43
WebUIのホーム画面……43
ネットワーク……44
モバイルネットワーク……44
電波強度測定……47
動作モード……47
Wi-Fi……48
Wi-Fi設定……49
ゲストWi-Fi……51
WPS……52
詳細設定……53
端末……54
接続中の端末……54
MACアドレスフィルタ……55
保護者向け管理……55
オフライン端末……56
データ使用量……57
ルーター……58
DHCP……58
DHCP固定割り当て設定……59
DDNS設定……59
VPNクライアント……60
ネットワーク診断……61
セキュリティ……62
フィルタリング設定……62
ポートマッピング……63
ポート転送……64
システムセキュリティ……64
その他……65
ソフトウェア更新……66
システム……67
本体情報……67
SIMカード管理……68
診断……69
WebUIパスワード……69
バックアップと復元……70
システム設定……71

付録／索引……73
付録……74
ソフトウェアを更新する……74
故障とお考えになる前に……75
アフターサービス……75
ディスプレイ メニュー項目／設定項目一覧……76
WebUI メニュー項目／設定項目一覧……77
主な仕様……80
輸出管理規制……80
知的財産権について……81
商標について……81
索引……82
お問い合わせ先について……iv

注意事項

本製品のご利用について 4
安全上のご注意(必ずお守りください) 4
材質一覧 6
取り扱い上のご注意 6
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 7
PINコードについて 7
データ通信料についてのご注意 7

本製品のご利用について

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.4）をお読みの上、正しくご使用ください。
- 故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」（▶P.75）で症状をご確認ください。
- 通信中は、身体から15センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、5G方式、LTE方式、WiMAX 2+方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外での使用はできません。
（This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客さまが利用されている本製品のIMEI情報を自動的にご契約の通信事業者に送信いたします。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の特性によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（同梱品含む）の回収にご協力ください。
- 本製品はソフトウェア更新のため、必要な端末情報を収集します。詳細はWebUIのプライバシーポリシーをご確認ください。

※本書で表す「当社」とは、ご契約の通信事業者および以下の企業を指します。
製造元：ZTE Corporation
輸入元：ZTEジャパン株式会社

memo

◎『取扱説明書』の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎『取扱説明書』の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
◎『取扱説明書』の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■本体、ACアダプタ、SIMカード、Ethernet ケーブル（試供品）、周辺機器共通

⚠危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源端子やLANポートに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れたり濡らさないでください。
また、濡れた状態や風呂場、加湿器のそばなどの水に触れる場所では、使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

ACアダプタは、同梱品を使用してください。
同梱品以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源端子やLAN／WANポートに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりや砂などが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

本製品のお手入れの際には、消毒液や水分が隙間、電源端子やLANポートに入らないようにしてください。
本製品の破損により、けが、感電などの原因となります。

使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本製品に接続している機器を取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

本製品を継続して使用される場合は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
継続しての使用は、本製品やACアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■本体について

⚠危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠警告

本製品内のSIMカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品を使用しないでください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部を破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。
発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.6)を参照してください。

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ACアダプタについて

⚠警告

ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。

コンセントにつないだ状態でDCプラグをショートさせないでください。また、DCプラグに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントに電源プラグを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

本製品にACアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れた手でACアダプタのコードやDCプラグ、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプタの電源プラグを持って抜いてください。
ACアダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品にACアダプタのDCプラグを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

ACアダプタのコネクタが曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
電源端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

コンセントにつないだ状態でACアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

ACアダプタの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.6)を参照してください。

■Ethernet ケーブル(試供品)について

⚠警告

Ethernet ケーブル(試供品)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、Ethernet ケーブル(試供品)には触れないでください。
感電などの原因となります。

本製品やパソコンなどにつないだ状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

Ethernet ケーブル(試供品)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品やパソコンなどにEthernet ケーブル(試供品)を抜き差しするときは、金属製アクセサリーなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品やパソコンなどにEthernet ケーブル(試供品)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れた手でEthernet ケーブル(試供品)や端子に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

端子についたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

Ethernet ケーブル(試供品)を本製品やパソコンなどに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

Ethernet ケーブル(試供品)を本製品やパソコンなどから抜く場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、コネクタを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

Ethernet ケーブル(試供品)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

コネクタが曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
LAN／WANポートのショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、Ethernet ケーブル(試供品)を本製品やパソコンなどから抜いてください。
Ethernet ケーブル(試供品)を接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに本製品やパソコンなどからEthernet ケーブル(試供品)を抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、Ethernet ケーブル(試供品)を本製品やパソコンなどから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

Ethernet ケーブル(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.6)を参照してください。

■SIMカードについて

⚠注意

SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合、もしくは装着している方が周囲にいる可能性がある場合は、装着部から本製品を15cm以上離れるように使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。身動きが自由にとれないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品の電源を切ってください。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

	使用箇所	使用材質<表面処理>
本体	ディスプレイ	ガラス
	前面ケース、背面ケース	ABS
	ゴム足	シリコンゴム
	銘板ラベル	PET
ACアダプタ	電源プラグ(樹脂部)	PET
	電源プラグ(金属部)	銅亜鉛合金
	ACアダプタ	PC
	電源ケーブル	PVC
	DCプラグ(樹脂部)	PBT
	DCプラグ(金属部)	H65黄銅
Ethernet ケーブル (試供品)	ケーブル	PVC
	端子(樹脂部)	白色部:PVC　透明部:PC
	端子(金属部)	銅<金メッキ>

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、ACアダプタ、SIMカード、Ethernet ケーブル(試供品)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。
  また、ケーブルを電源端子やLAN／WANポートに差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください(周囲温度0℃～40℃、湿度5%～90%の範囲内でご使用ください)。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 電源端子やLAN／WANポートをときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またシンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 市販のアルコール除菌シート・スプレーなどをご使用の場合は、本製品を拭き取った後、水拭きするなどしてアルコールや液剤を取り除いてください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、これらの機器に影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。また、電子レンジは本製品に影響を与える場合がありますので、電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。
- ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは本製品に触れないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定のACアダプタをご使用ください。指定のACアダプタ以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品のお客さまによる分解や改造、修理しての利用は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 電源端子やLAN／WANポートをショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- 使用中に濡れた場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。
- 布団などで覆われた状態での使用は故障の原因となります。
- ACアダプタやEthernetケーブルと接続するときは、接続する端子に対してプラグやコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を使用する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
  本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品内で確認できるようになっております。
  ≪確認方法≫ ホーム画面を上にスワイプ→[情報]→[本体情報]→「認証情報」欄を確認
  本製品本体の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明および技術基準適合認定が無効となります。技術基準適合証明および技術基準適合認定が無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- 本製品内のSIMカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂などの上に直に置かないでください。本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。
- 本体の通気口をふさがないように設置してください。故障の原因となります。

■タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

■ ACアダプタについて

- ACアダプタのコードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、ACアダプタのプラグとコードの接続部を無理に曲げないでください。アダプタやコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- 異常が発生した場合に直ちに電源を切れるように、ACアダプタは、電源プラグを容易に取り外せる場所にあるコンセントに接続してください。

■ Ethernet ケーブル(試供品)について

- Ethernet ケーブル(試供品)のプラグと本製品やパソコンなどの接続部を無理に曲げないでください。また、Ethernet ケーブル(試供品)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品やパソコンなどから抜くときは、プラグを持って抜いてください。Ethernet ケーブル(試供品)を引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ 著作権・肖像権について

- お客さまが本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN(Wi-Fi®)が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ご契約された通信事業者までご連絡ください。

memo

◎本製品はすべての無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎無線通信時のセキュリティとして、無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

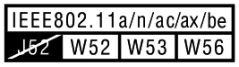


- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52(5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch)
W53(5.3GHz帯/52, 56, 60, 64ch)
W56(5.6GHz帯 /100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)



PINコードについて

■ PINコード

- 第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
- PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コード(PUKコード)を利用して解除できます。
  ※お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否はオフ(入力不要)に設定されていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否はオン(入力必要)に変更できます。
  入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客さま独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

- PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
  ※PINロック解除コード(PUKコード)は、SIMカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
  ※PINロック解除コード(PUKコード)を入力した場合は、「SIMカード管理」(▶P.68)で新しくPINコードを設定してください。
  ※PINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えた場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。
  ※PINコードは本製品のリセットを行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品で各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

ご利用の準備

ご利用になる前に……10
設置場所について……10
各部の名称と機能……11
ディスプレイ表示とボタン操作……12
SIMカードについて……13
SIMカードを取り付ける／取り外す……13
電源を入れる／切る……14
工場出荷状態に戻す（リセット）……15
スマートフォンなどの通信機器との接続……15
本製品の便利な機能……16
動作環境……16

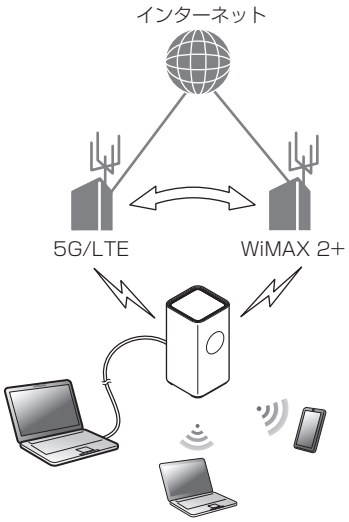
ご利用になる前に

本製品は無線基地局と5G方式、LTE方式、WiMAX 2+方式を利用してデータ通信を行うことができます。以下の通信モードを選択できます。

・各通信モードの選択、設定方法については、「モバイルネットワーク」の「通信モード」(▶P.44)を参照してください。

スタンダードモード	5G、LTE、またはWiMAX2+ネットワークに接続します。
プラスエリアモード	5G、LTE、またはWiMAX2+ネットワークに接続します。 「スタンダードモード」より広いエリアでの通信が可能となります。

お買い上げ時は「スタンダードモード」に設定されています。「プラスエリアモード」に切り替えると、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合がございますので、ご注意ください。



・本製品とスマートフォンやパソコンなどの通信機器との接続については、「スマートフォンなどの通信機器との接続」(▶P.15)を参照してください。

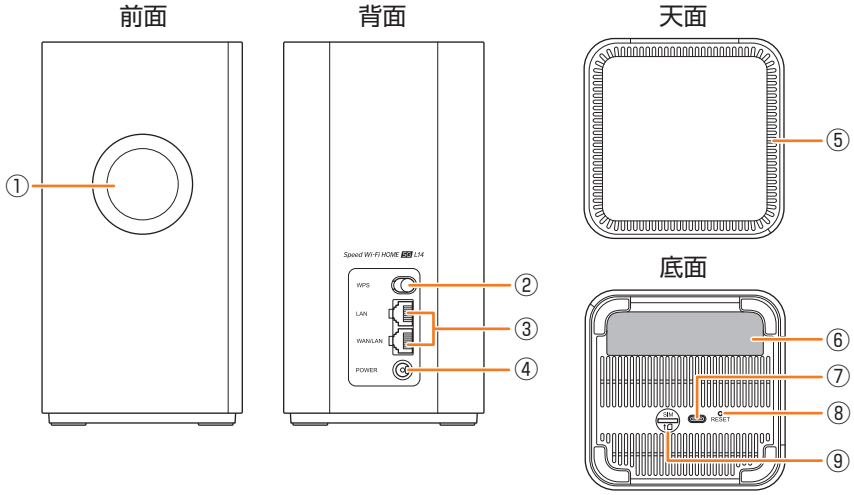
memo

◎自宅などのインターネット回線と本製品を有線で接続することもできます。
・接続には本製品のWAN／LANポートを使用してください(▶P.11)。
・SIMカードによるモバイルネットワーク接続と併用する場合は、「ハイブリッドモード」でより高速なインターネット接続を利用できます(▶P.38、47)。
◎有線WANでの接続について、ご契約のインターネットサービスプロバイダなどから設定情報が指定されている場合があります。詳しくはご契約のプロバイダなどにお問い合わせください。

設置場所について

ディスプレイ上のステータスアイコンの状態によって電波受信の強度を確認できます。
※ WebUIの「電波強度測定」メニュー(▶P.47)を利用して、複数の設置場所での電波強度を比較することができます。

各部の名称と機能



① **ディスプレイ**
本製品の状態を確認できます。またタッチパネルで各種設定を行えます。

② **WPSボタン**
WPS機能対応機器と無線LAN(Wi-Fi®)接続するときに使用します。

③ **LAN／WANポート**
パソコンなどをEthernet ケーブル(試供品)で接続します。
上側(LAN):LAN接続に使用します。
下側(WAN/LAN):WANまたはLAN接続に使用します。※
※ 接続先(WANまたはLAN)は自動的に判別されます。

④ **電源端子**
ACアダプタのDCプラグを接続します。

⑤ **通気口**
設置の際はふさがないようにしてください。

⑥ **ラベル**
Wi-Fi名やWi-Fiパスワード、IMEIなどを確認できます。はがさないでください。

⑦ **検査用端子**
検査用の接続端子です。故障などの原因となりますので、ご使用にならないでください。

⑧ **RESETボタン**
設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

⑨ **SIMカードスロット**
SIMカードを取り付けます(▶P.13)。

ディスプレイ表示とボタン操作

■ホーム画面とステータスアイコン

ホーム画面には以下の情報が表示されます。



■アイコンの見かた

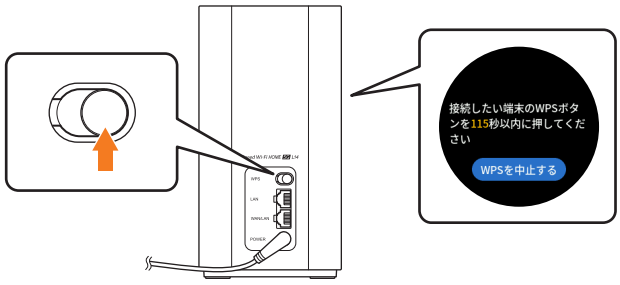
画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	説明
① ネットワーク	4G:4Gで接続中 5G:5Gで接続中 5G+:5G+で接続中
② 電波受信レベル	／／／:電波の強さ :圏外／サービス制限／電波なし :SIMカードなし
③ ブリッジモード	B:ブリッジモード設定中
④ 通信モード	ST:スタンダードモード +A:プラスエリアモード
⑤ Wi-Fi状態	:Wi-Fiオフ 2.4G:2.4GHz帯利用可能 5G:5GHz帯利用可能 2.4G 5G:2.4GHz帯／5GHz帯利用可能
⑥ 接続台数	1:本製品に接続している機器の台数

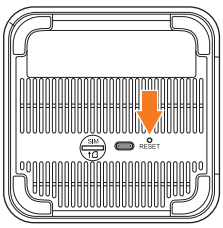
■ボタン操作

本体のボタンで次の操作ができます。

■ WPSボタン



■ RESETボタン



①WPSボタン

押す(約2秒以内)	WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末とWPS接続(2.4GHz／5GHz)を実行します(▶P.24)。

※本製品のWPS機能は約2分間有効です。WPS機能をオンにしてから約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS接続を完了してください。
※WPS接続は、ホーム画面を上にスワイプ→[Wi-Fi]→[WPS]→[WPS]と操作しても実行できます。

②RESETボタン

約3秒以上押す	本製品の設定内容が工場出荷時の状態に戻ります(▶P.15)。 本製品の電源を入れた状態で、先の細いもので押してください。

※ご購入後に設定した内容はすべて削除されます。十分ご注意の上本機能をご利用ください。
※工場出荷状態に戻すには、ディスプレイメニューまたはWebUIからも実行できます(▶P.41、71)。

SIMカードについて

SIMカードにはお客さまの電話番号などが記録されています。
・本製品にはSIMロックはされておりません。

au Nano IC Card 05 Uの場合



memo

◎SIMカードには、お客さまの情報として電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信などは行えません。
◎SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
・SIMカードのIC（金属）部分には触れないでください。
・正しい挿入方向をご確認ください。
・無理な取り付け、取り外しはしないでください。
◎SIMカードを正しく取り付けていない場合やSIMカードに異常がある場合は、ステータスバーに または が表示されます。
◎取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
◎変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。
・データ通信（インターネットへの接続）（有線によるWAN接続を行っていない場合）
・PINコード管理
・本製品の電話番号の確認
上記以外でも、お客さまの電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

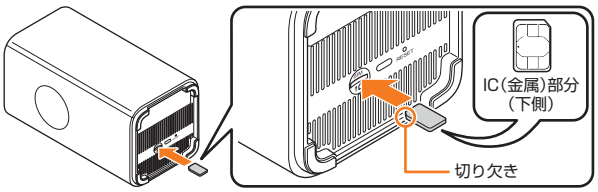
SIMカードを取り付ける／取り外す

SIMカードの取り付け／取り外しは、ACアダプタを接続していない状態で行ってください。

SIMカードを取り付ける

1 SIMカードをSIMカードスロットに差し込む

IC（金属）面を下にして、図に示す切り欠き部分で方向を確認してから、カチッと音がするまで押し込みます。



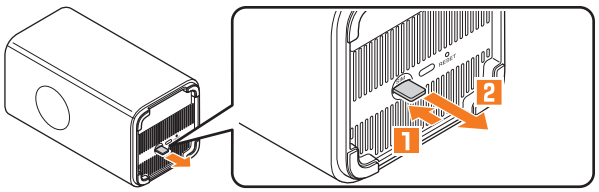
SIMカードを取り外す

1 SIMカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、SIMカードに指を添えたまま手前に戻してください。
・強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

2 SIMカードをまっすぐにゆっくり引き抜く

・ロックされている状態から無理に引き抜かないように注意してください。



電源を入れる／切る

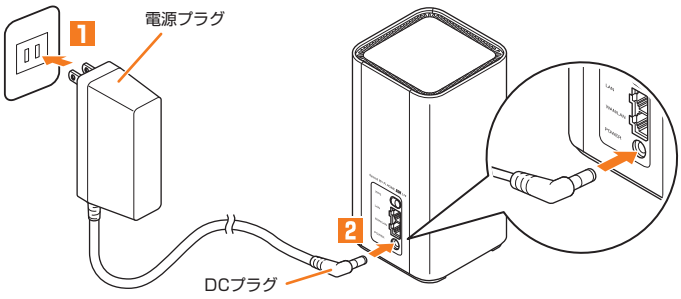
本製品には電源ボタンがありません。電源を入れるときは電源プラグをコンセントに接続し、ACアダプタを本製品に接続します。

電源を入れる

1 ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

2 本製品の電源端子にACアダプタのDCプラグを接続する

奥までまっすぐにしっかり差し込んでください。



■はじめて電源を入れたときは

はじめて電源を入れたとき、または工場出荷状態に戻したとき（リセット）は、QRコードを利用して無線LAN（Wi-Fi®）端末と接続（2.4GHz）する画面が表示されます。

・画面を左にスワイプするとホーム画面に切り替わります。



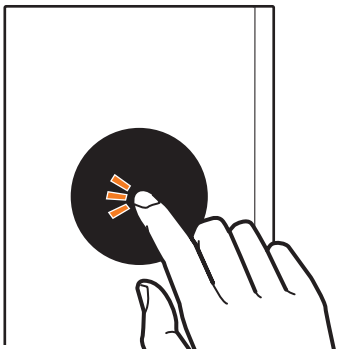
電源を切る

1 本製品からACアダプタのDCプラグをまっすぐ引き抜く

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

ディスプレイの消灯／点灯について

本製品を一定の時間操作しないときは、ディスプレイが消灯します。
再度点灯するには、ディスプレイをタップします。

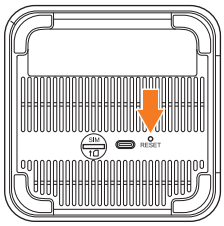


memo

◎ディスプレイが消灯するまでの時間は変更できます。詳しくは「画面オフ時間を設定する」（▶P.40）を参照してください。

工場出荷状態に戻す（リセット）

本製品の電源を入れた状態で、RESETボタンを先の細いもので約3秒以上押すと、工場出荷時の状態にリセットされます。



底面

・ディスプレイメニューの「工場出荷状態に戻す」（▶P.41）またはWebUIの「工場出荷状態に戻す（リセット）」（▶P.71）でも工場出荷時の状態に戻ります。

memo

◎本製品をリセットするとご購入後に設定した内容は削除されます（SIMカード管理の設定内容を除く）。十分ご注意の上、本機能をご利用ください。また万一の場合に備え、あらかじめ設定内容をパソコンに保存することも可能です。詳しくは、「バックアップと復元」（▶P.70）を参照してください。

スマートフォンなどの通信機器との接続

本製品は、無線LAN（Wi-Fi®）機能によりスマートフォンやパソコンなどの複数の無線LAN（Wi-Fi®）端末と接続したり、付属のEthernet ケーブル（試供品）でパソコンなどと接続したりできます。さらに、接続した端末から本製品を経由して5G方式、LTE方式、WiMAX 2+方式を使ったインターネット接続によるデータ通信（ベストエフォート方式※）ができます。

※接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

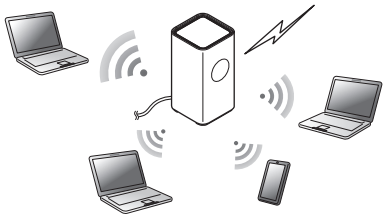
■無線LAN（Wi-Fi®）で接続する

本製品とパソコンやスマートフォンなどの無線LAN（Wi-Fi®）端末を接続し、データ通信を行います。

本製品は無線LAN（Wi-Fi®）端末を同時に最大128台まで接続することができます。

※2.4GHz帯と5GHz帯を合わせた台数です。なおWi-Fi上での処理性能の制限により、同時に接続できる端末は最大128台までとなります。

・「無線LAN（Wi-Fi®）で接続する」（▶P.22）

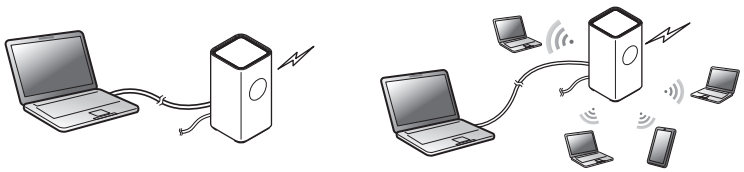


■Ethernet ケーブル（試供品）で接続する

本製品とパソコンをEthernet ケーブル（試供品）で接続し、データ通信を行います。

・「WindowsパソコンとLAN接続する」（▶P.29）

・「MacとLAN接続する」（▶P.29）



memo

◎電波受信状況やアクセス集中、コンテンツの容量などによっては、正常な通信が行えない場合があります。また、接続機器やゲームなどによっては通信や通信対戦プレイなどが正常に動作しない場合があります。

◎ネットワークへの接続は、その時点で快適に使えるネットワークを自動的に判別して接続します。

◎無線LAN（Wi-Fi®）接続とLAN接続を同時に利用することもできます。本体背面のLAN／WANポートに2台LAN接続した場合、合わせて最大130台まで接続できます。LAN／WANポートにスイッチングハブ等を接続してご利用いただくことで、Wi-Fi接続の接続台数を含め、最大252台まで理論上は接続可能です。ただし、各端末の通信量などの条件により、252台の端末の通信を保証するものではありません。

◎本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

本製品の便利な機能

■ タッチパネルによる操作
本製品はタッチパネル方式のディスプレイを搭載しており、無線LAN(Wi-Fi®)端末との接続や使用状況の確認など、さまざまな操作をかんたんに行うことができます(▶P.18)。

■ 電波強度測定
本製品を設置する場所のより詳細な電波の強さを、WebUIで確認できます(▶P.47)。
- 電波の強い場所に設置すると、通信速度の向上が期待できます。
- 電波を受信しやすい窓の近くに設置することをおすすめします。部屋の隅や床に直接置くと、電波の受信状態が悪くなる場合があります。
- 金属製のテーブルなどの上に置かないでください。電波の受信に悪影響を及ぼす可能性があります。

■ Wi-Fi設定お引越し機能
これまで利用していたWi-Fiルーターの設定を本製品に引き継ぐことができます。無線LAN(Wi-Fi®)端末側の設定を変える必要がなく、かんたんに接続できます(▶P.33)。

■ データ使用量
ご利用になったデータ量を確認できます(▶P.57)。また、本機能で設定したデータ使用量を超えると通知でお知らせします。
- 使用量カウンターは本製品本体でカウントしているため、カウントするデータ使用量は目安であり、実際のデータ使用量とは異なります。

動作環境

本製品との接続が可能な動作環境は、下記の通りです(2026年9月現在)。

■ 対応機器
IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax/beの無線LAN(Wi-Fi®)規格に対応するパソコン、iPhone、iPad、スマートフォン、ゲーム機などの機器
LANポートを備えたWindows／Macなどのパソコン

■ LANポート
2.5GBASE-T(×2)

■ 対応OS(パソコン)
Windows 10(32ビット／64ビット)
Windows 11(64ビット)
macOS 11～15
上記OSの日本語版／英語版／中国語版／韓国語版に対応しております。

■ メモリ
Windows:1.0GHz以上のCPU、1GB以上必要(32ビット)　2GB以上必要(64ビット)
Mac:推奨512MB以上(256MB以上必要)

■ ハードディスク
Windows:16GB以上の空き容量が必要(32ビット)　20GB以上の空き容量が必要(64ビット)

■ 画面解像度
推奨1024×768以上

■ 対応ブラウザ(WebUI対応)
Firefox 92.0以上
Safari 10.0以上
Opera 79.0以上
Google Chrome 94.0以上
Microsoft Edge 94以上

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまがご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。また、プロキシの設定、インターネットオプションのセキュリティ設定など、Webブラウザの設定によっては正常に動作しない場合があります。

memo
◎パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンの取扱説明書などをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

基本操作

基本操作 **18**
タッチパネルの使いかた 18
基本的な操作 18

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作

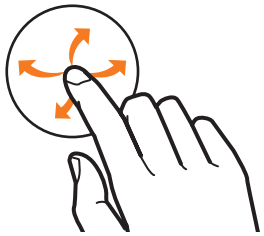
■ タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。



■ スワイプ

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



基本的な操作

■ ホーム画面から他の画面に切り替えるには

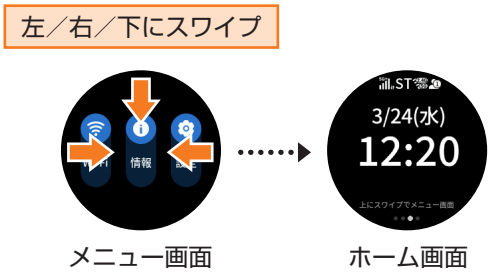
ホーム画面をスワイプして、他の画面に切り替えることができます。
- ホーム画面を右にスワイプ：Wi-Fi接続用のQRコードが表示されます。※1
- ホーム画面を左にスワイプ：データ使用量画面が表示されます。
- ホーム画面を上にスワイプ：メニュー画面が表示されます。
- メニュー画面の各項目をタップ：各項目の設定画面が表示されます。

※1：お買い上げ時は2.4GHz帯と5GHz帯のQRコードが表示されます。ゲストWi-Fiをオンにしている場合は、ゲストWi-Fi用のQRコードも表示されます。
ゲストWi-Fiについて詳しくは、「ゲストWi-Fiを利用する」（▶P.38）、「ゲストWi-Fi」（▶P.51）を参照してください。



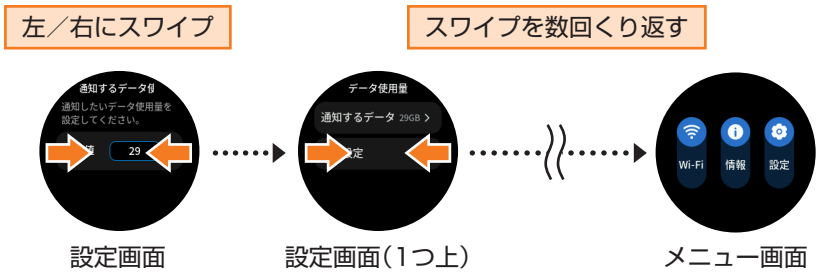
■ メニュー画面からホーム画面に戻るには

メニュー画面を左右または下にスワイプすると、ホーム画面に戻ります。



■設定画面から1つ上の画面に戻るには

設定画面を左右にスワイプすると、1つ上の画面に戻ります。
スワイプをくり返すとメニュー画面に戻ります。



■項目を設定するには

選択肢の一覧に◉／○が表示されている場合は、◉の項目がオンとなります。
○をタップすると、タップした項目がオンに切り替わります（他の項目はオフになります）。

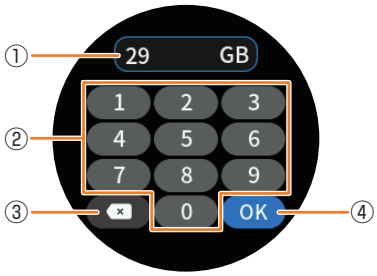


⬭／⬭が表示されている場合は、⬭の項目がオンとなります。
⬭をタップするとオンに切り替わります。



■数字を入力するには

数字のキーボードが表示された場合は、以下の通り操作できます。



① **入力欄**
　カーソルのある位置に数字を入力します。タップするとその位置にカーソルが移動します。
② **数字キー**
　数字を入力します。
③ **削除キー**
　カーソルの前にある数字を削除します。
④ **OKキー**
　入力した数値を確定します。

無線LAN(Wi-Fi®)接続／LAN接続

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する 22
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能について 22
- Wi-Fi名について 22
- 5GHz帯の使用について 22
- Wi-Fi接続について 23
- QRコードを読み取って接続する 23
- WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する 24
- 手動設定で接続する 24
- Windowsパソコンを接続する 26
- Macを接続する 28

LAN接続する 29
- LAN接続について 29
- WindowsパソコンとLAN接続する 29
- MacとLAN接続する 29

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

本製品はIEEE802.11a/b/g/n/ac/ax/beの無線LAN(Wi-Fi®)規格に準拠しており、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末(パソコンやゲーム機など)を無線LAN(Wi-Fi®)で接続して、データ通信ができます。
また、本製品はWPS(Wi-Fi Protected Setup)機能に対応しており、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末がWPS機能に対応している場合は、少ない操作で無線LAN(Wi-Fi®)接続ができます。
WPS機能に対応していない無線LAN(Wi-Fi®)端末でも、本製品に設定されたWi-Fi名とWi-Fiパスワードを入力するだけで簡単に接続することができます。
本製品のWi-Fi名とWi-Fiパスワードは、同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」、ディスプレイメニューまたは底面ラベルでも確認できます。なお、本製品の工場出荷時状態におけるWi-Fi名は、「SPWH_L14_で始まる英数字記号」で表示されます。お客さまが変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線LAN(Wi-Fi®)ネットワークですので接続しないよう注意してください。
ここでは、本製品とスマートフォンやiPhone／iPad、WPS対応機器、Windowsパソコン、Macを初めて無線LAN(Wi-Fi®)接続する場合の操作について説明しています。

memo

◎セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているWi-Fi名およびWi-Fiパスワードを変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「Wi-Fi設定」(▶P.49)を参照してください。
◎無線LAN(Wi-Fi®)接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi®)端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi®)端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi®)端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
◎無線LAN(Wi-Fi®)端末は無線LAN(Wi-Fi®)接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能なWi-Fiネットワークがあると、自動的にWi-Fiネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能なWi-Fiネットワークが複数ある場合は、最後に設定したWi-Fiネットワークに接続されます。
◎必要に応じて、無線LAN(Wi-Fi®)機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「詳細設定」(▶P.53)を参照してください。
◎本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
◎本製品の「Wi-Fi名を非表示にする」機能がオンになっていると、無線LAN(Wi-Fi®)端末で本製品を検出できません。詳しくは「Wi-Fi設定」(▶P.49)を参照してください。

Wi-Fi名について

本製品はマルチSSID機能に対応し、3つのWi-Fi名があります。
● Wi-Fi名(2.4GHz帯):2.4GHz帯の周波数で接続するときに使用します。
● Wi-Fi名(5GHz帯):5GHz帯の周波数で接続するときに使用します。
● Wi-Fi名(ゲストWi-Fi):ゲスト用に使用するWi-Fi名です。
※一部のゲーム機など、WEP対応の機器では接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、「Wi-Fi設定」(▶P.49)を参照してください。

■ゲストWi-Fiについて

ゲストWi-Fiは、来客者用などに一時的にインターネット環境を作ることができます。本製品では、お買い上げ時の状態で「ゲストWi-Fi」はご利用になれません。
ゲストWi-Fiについて詳しくは、「ゲストWi-Fiを利用する」(▶P.38)、「ゲストWi-Fi」(▶P.51)を参照してください。

5GHz帯の使用について

■DFS機能

本製品は無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯での電波干渉を避けるため、法令(電波法)により、DFS機能を搭載しています。本製品が利用する無線LAN(Wi-Fi®)5GHzの周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。
そこで、本製品が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさない無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。
周囲に同じ無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を使っている無線LAN(Wi-Fi®)端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなることがあります。

■DFSチェックについて

無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがないかを最低でも1分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFSチェック」と呼びます。
5GHz帯の設定で「屋内」または「屋外」を選択するとき、一定時間データ通信が行われないなどで無線LAN(Wi-Fi®)機能が停止された状態から再開するときなどに、DFSチェックが作動します。
DFSチェック中は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が一時的に停止され、無線LAN(Wi-Fi®)機能が再開するまでに1分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。
本製品に接続している無線LAN(Wi-Fi®)端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線LAN(Wi-Fi®)端末側で再接続の操作を行ってください。
※DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

memo

◎ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯に対応しているかご確認ください。ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本製品の2.4GHz帯のWi-Fi名に接続してご利用ください。
◎Wi-Fi 5GHzの設定(▶P.37、53)を変更する場合は本製品のディスプレイに確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をタップしてください。本製品の状態によって、動作は以下のようになります。
・「屋内(W52のみ)」:W52を使用します。DFSチェックは実行されません。
・「屋内」／「屋外」(または操作しないで一定時間操作されない場合):W53またはW56を使用するためDFSチェックを実行します。
◎以下の場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が再起動することがあります。
・無線LAN(Wi-Fi®)の設定項目を変更するとき
・気象レーダーなどと電波干渉が起きたとき
・通信モードのスタンダードモードとプラスエリアモードを切り替えるとき

Wi-Fi接続について

無線LAN(Wi-Fi®)での本製品への接続方法を記載します。

■QRコードでの接続

スマートフォン(Android OS搭載端末)やiPhone／iPadなどの無線LAN(Wi-Fi®)端末でQRコードを読み取って本製品と接続することができます。
詳しくは「QRコードを読み取って接続する」(▶P.23)を参照してください。

■Wi-Fi設定お引越し

これまでお使いのWi-Fiルーターから本製品に交換する場合などに、これまでのWi-Fi名とWi-Fiパスワードを本製品に引き継いで、無線LAN(Wi-Fi®)端末側の設定を変更することなく簡単に接続することができます。
詳しくは「Wi-Fi設定お引越し機能を利用して接続する」(▶P.33)を参照してください。

■WPS接続

WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末と接続することができます。詳しくは「WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する」(▶P.24)を参照してください。

■手動設定

スマートフォンやiPhone／iPad、ゲーム機などの無線LAN(Wi-Fi®)端末で本製品の情報を入力して接続することができます。
詳しくは「手動設定で接続する」(▶P.24)を参照してください。

■Windowsパソコンとの接続

Windowsパソコンと無線LAN(Wi-Fi®)で接続します。
詳しくは「Windowsパソコンを接続する」(▶P.26)を参照してください。

■Macとの接続

Macと無線LAN(Wi-Fi®)で接続します。
詳しくは「Macを接続する」(▶P.28)を参照してください。

QRコードを読み取って接続する

スマートフォン(Android OS搭載端末)やiPhone／iPadなどの無線LAN(Wi-Fi®)端末でQRコードを読み取って本製品と接続します。

- お買い上げ時の接続用のQRコードは以下を参照してください。
  - 同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」(2.4GHz帯／5GHz帯)
  - 底面ラベル(2.4GHz帯のみ)
  - 本製品のホーム画面を右にスワイプする(2.4GHz帯／5GHz帯)
- 無線LAN(Wi-Fi®)接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi®)端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi®)端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi®)端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。

スマートフォン(Android OS搭載端末)を接続する

手順は一般的なスマートフォン(Android OS搭載端末)で接続する場合を例にして説明しています。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書などを参照してください。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 スマートフォンのメニューからWi-Fiの設定メニューを選択し、Wi-Fiをオンにする

3 スマートフォンのカメラやQRコード読み取りアプリなどで、接続用のQRコードを読み取る

接続に成功すると、スマートフォンのステータスバーにWi-Fiアイコンが表示されます。

iPhone／iPadを接続する

画面表示や手順はiPhoneで接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 iPhoneの「設定」メニューから[Wi-Fi]→Wi-Fiをオンにする



3 iPhoneのカメラやQRコード読み取りアプリなどで、接続用のQRコードを読み取る

接続に成功すると、iPhoneのステータスバーにWi-Fiアイコンが表示されます。

WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する

WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末で本製品と接続します。
WPSのプッシュボタン方式に対応している無線LAN(Wi-Fi®)端末であれば、Wi-Fi名やWi-Fiパスワードを入力することなく、簡単な操作で本製品と接続できます。

memo

◎WPS機能の接続設定は機器によって異なりますので、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書などを参照してください。
◎本製品の「Wi-Fi名を非表示にする」機能がオンになっているとWPS機能は使用できません。詳しくは「Wi-Fi設定」(▶P.49)を参照してください。
◎本製品のWPS機能は約2分間有効です。WPS機能をオンにしてから約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS接続を完了してください。

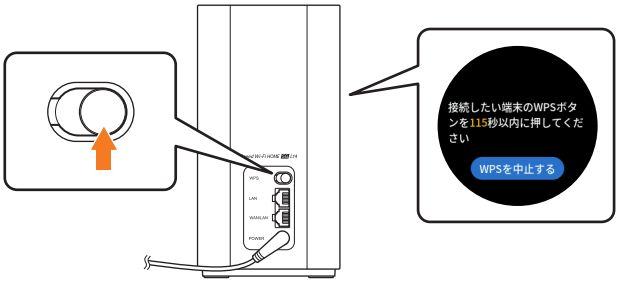
1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 無線LAN(Wi-Fi®)端末の無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行う

3 本製品のWPSボタンを押す(約2秒以内)

WPS機能がオンになります。
・ホーム画面を上にスワイプ→[Wi-Fi]→[WPS]→[WPS]と操作してもWPS機能をオンにできます。



WPSボタン	動作
押す(約2秒以内)	WPS接続(2.4GHz/5GHz)実行中

・接続する無線LAN(Wi-Fi®)端末が2.4GHzと5GHzの両方をサポートし、WPS接続する周波数帯を設定できない場合は、周囲のWi-Fi®の無線環境により接続する周波数帯が異なります。

4 約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS機能の接続操作を行う

接続に成功すると、本製品のディスプレイに接続完了を示すメッセージが表示されます。
・お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末によって操作は異なります。

手動設定で接続する

スマートフォン(Android OS搭載端末)やiPhone/iPadなどの無線LAN(Wi-Fi®)端末で、本製品のWi-Fi名とWi-Fiパスワードを入力して本製品と接続します。
・お買い上げ時の本製品のWi-Fi名とWi-Fiパスワードは以下を参照してください。
- 同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」(2.4GHz帯/5GHz帯)
- 底面ラベル(2.4GHz帯/5GHz帯)
- 本製品のホーム画面を上にスワイプ→[Wi-Fi]と操作(2.4GHz帯/5GHz帯)

・無線LAN(Wi-Fi®)接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi®)端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi®)端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi®)端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。

スマートフォン(Android OS搭載端末)を接続する

手順は一般的なスマートフォン(Android OS搭載端末)で、本製品に接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書などを参照してください。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 スマートフォンのメニューからWi-Fiの設定メニューを選択し、Wi-Fiをオンにする

3 検索結果から本製品のWi-Fi名を選択

・本製品のWi-Fi名の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。

4 Wi-Fiパスワードを正しく入力→[接続]

接続に成功すると、スマートフォンに表示されている本製品のWi-Fi名の項目に「接続されました」など接続完了を示すメッセージが表示されます。

iPhone／iPadを接続する

画面表示や手順はiPhoneで接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN（Wi-Fi®）機能がオンになります。

2 iPhoneの「設定」メニューから［Wi-Fi］→Wi-Fiをオンにする



3 ネットワークの一覧から本製品のWi-Fi名を選択

・本製品のWi-Fi名の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



4 Wi-Fiパスワードを正しく入力→［✓］



接続に成功すると、iPhoneのステータスバーにWi-Fiアイコンが表示され、本製品のWi-Fi名にチェックアイコンが表示されます。



Windowsパソコンを接続する

画面表示や手順は、Windows 11で本製品のWi-Fi名を使用して接続する場合を例にして説明しています。

- お買い上げ時の本製品のWi-Fi名とWi-Fiパスワードは以下を参照してください。
  - 同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」(2.4GHz帯／5GHz帯)
  - 底面ラベル(2.4GHz帯／5GHz帯)
  - 本製品のホーム画面を上にスワイプ→[Wi-Fi]と操作(2.4GHz帯／5GHz帯)

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 パソコンのデスクトップ画面右下のネットワークアイコン( )をクリック→Wi-Fiアイコンの右にある[ ]



3 Wi-Fiをオンにする

アクセスポイントの検索を開始します。



4 本製品のWi-Fi名を選択→[接続]

- 「自動的に接続」にチェックが付いていることを確認してください。
- 本製品のWi-Fi名の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



■ WPS機能で接続する場合

5 本製品のWPSボタンを押す(約2秒以内)

本製品のWPS機能がオンになり、接続が開始されます。

- 本製品のホーム画面を上にスワイプ→[Wi-Fi]→[WPS]→[WPS]と操作してもWPS機能をオンにできます。
- 接続に成功すると、本製品のWi-Fi名に「接続済み」が表示されます。



■ Wi-Fiパスワードを入力して接続する場合

5 Wi-Fiパスワードを「ネットワークセキュリティキーの入力」に正しく入力→[次へ]



・接続に成功すると、本製品のWi-Fi名に「接続済み」が表示されます。



Macを接続する

画面表示や手順はmacOS Sequoia 15.7.9で、本製品のWi-Fi名を使用して接続する場合を例にして説明しています。

・お買い上げ時の本製品のWi-Fi名とWi-Fiパスワードは以下を参照してください。
- 同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」(2.4GHz帯／5GHz帯)
- 底面ラベル(2.4GHz帯／5GHz帯)
- 本製品のホーム画面を上にスワイプ→[Wi-Fi]と操作(2.4GHz帯／5GHz帯)

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 アップルメニューから[システム設定...]→[ネットワーク]

3 [Wi-Fi]→[ ]をクリックして[ ]にする



4 「ほかのネットワーク」のリストから本製品のWi-Fi名を選択→[接続]

・本製品のWi-Fi名の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



5 Wi-Fiパスワードを「パスワード」に正しく入力→[OK]

・Wi-Fiネットワークの名称が本製品のWi-Fi名になっていることを確認してください。



・接続に成功すると、本製品のWi-Fi名に「接続済み」が表示されます。



LAN接続する

LAN接続について

本製品は2.5GBASE-TのEthernet通信に対応しています。
・LAN接続を行う場合は、付属のEthernet ケーブル(試供品)をご使用ください。

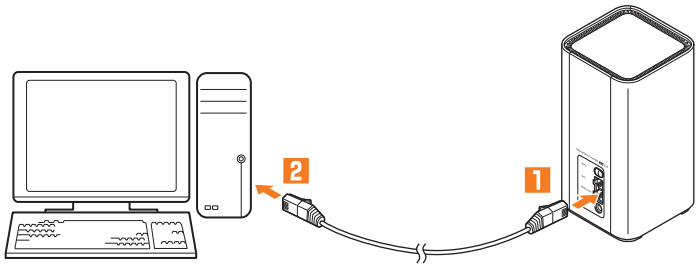
Windowsパソコンと LAN接続する

Windowsパソコンに取り付ける

1 本製品の電源を入れる
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 本製品のLAN／WANポートにEthernet ケーブル(試供品)を接続する
・コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

3 Ethernet ケーブル(試供品)のもう一方のコネクタをパソコンのLANコネクタに接続する
パソコンがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のパソコンによっては、時間がかかる場合があります)。
・コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



Windowsパソコンから取り外す

1 データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外す

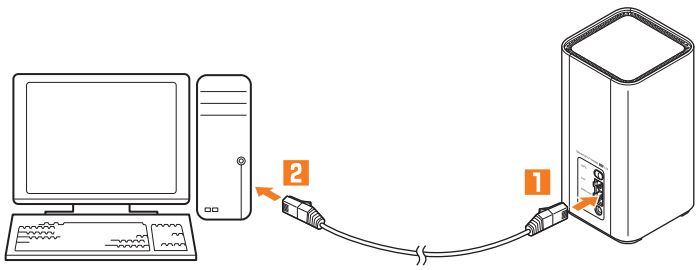
MacとLAN接続する

Macに取り付ける

1 本製品の電源を入れる
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 本製品のLAN／WANポートにEthernet ケーブル(試供品)を接続する
・コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

3 Ethernet ケーブル(試供品)のもう一方のコネクタをMacのLANコネクタに接続する
Macがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のMacによっては、時間がかかる場合があります)。
・コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



Macから取り外す

1 データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外す

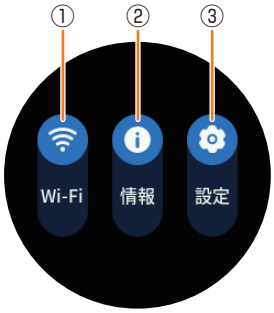
機能設定

ディスプレイメニューについて 32
- Wi-Fi 32
- 情報 35
- 設定 37

WebUIについて 42
- 各種機能の詳細設定をする（設定） 43
- ネットワーク 44
- Wi-Fi 48
- 端末 54
- データ使用量 57
- ルーター 58
- セキュリティ 62
- ソフトウェア更新 66
- システム 67

ディスプレイメニューについて

本製品のメニュー画面から、各種機能を設定することができます。



① **Wi-Fi**
QRコードやWPSなどを利用した無線LAN(Wi-Fi®)接続や、本製品のWi-Fi名／Wi-Fiパスワードの確認ができます(▶P.32)。
② **情報**
データ使用量や本体情報、WebUIへの接続方法などの情報を確認できます(▶P.35)。
③ **設定**
ゲストWi-Fiやモバイルデータ使用のオン／オフ、各種モードの設定などができます(▶P.37)。

memo
◎Wi-Fiメニューおよび情報メニューに表示されている項目は、設定メニュー内の項目と同じです。

Wi-Fi

QRコードやWPSなどを利用した無線LAN(Wi-Fi®)接続や、本製品のWi-Fi名／Wi-Fiパスワードの確認ができます。

1 メニュー画面で[Wi-Fi]
Wi-Fi画面が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



QRコードで接続する

無線LAN(Wi-Fi®)端末のカメラやQRコード読み取りアプリなどでQRコードを読み取って、本製品に接続できます。
・ここで表示されるQRコードは、ホーム画面を右にスワイプして表示されるものと同じです(▶P.18)。

1 Wi-Fi画面で[QRコードで接続]
「QRコードで接続」画面が表示されます。
・左右にスワイプすると、2.4GHz／5GHz／ゲストWi-Fiの切り替えができます。



2 無線LAN(Wi-Fi®)端末の無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにした後、カメラやQRコード読み取りアプリなどでQRコードを読み取る
・無線LAN(Wi-Fi®)端末の詳細な操作については、無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書などを参照してください。

WPS機能を利用して接続する

WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末と接続できます。
・本体背面のWPSボタンを押してもWPS機能で接続できます(▶P.24)。

1 Wi-Fi画面で[WPS]→[WPS]



2 WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS機能を実行する

・WPS機能の実行方法については、無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書などを参照してください。

memo

◎本製品のWPS機能は約2分間有効です。WPS機能をオンにしてから約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS接続を完了してください。

Wi-Fi設定お引越し機能を利用して接続する

これまで利用していたWi-Fiルーターに代わって本製品をご使用になる場合は、これまでのWi-Fi名とWi-Fiパスワードを本製品に引き継ぐことができます。
無線LAN(Wi-Fi®)端末側の設定を変える必要がなく、ディスプレイの表示で確認しながら簡単に接続することができます。
・これまで利用していたWi-FiルーターにWPS機能が搭載されている場合のみ、利用できます。また、Wi-Fiルーターの設定によっては、引き継げないことがあります。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

2 Wi-Fi画面で[Wi-Fi設定お引越し]→[OK]

Wi-Fi設定お引越しが始まります。
お引越しは2.4GHz→5GHzの順に、自動的に行われます。



3 これまでお使いのルーターのWPS機能を実行する

WPS機能の実行方法は、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

4 本製品のディスプレイに、これまで利用していたWi-Fiルーターの設定を反映するかどうかの確認画面が表示されたら[OK]

お引越しの完了後、ホーム画面を上にスワイプ→[Wi-Fi]と操作して、Wi-Fi名とWi-Fiパスワードがこれまでご利用のものに変わっていることを確認してください。
・お引越しに失敗した場合は、もう一度操作2～4を行ってください。再度行っても失敗する場合は、「手動設定で接続する」(▶P.24)を参照し、本製品のWi-Fi名とWi-Fiパスワードによる接続を行ってください。

5 これまでお使いのルーターの電源をオフにする

memo

◎Wi-Fi設定お引越し機能では、引き継げない暗号化モードや、Wi-Fi名やWi-Fiパスワードで引き継げない文字があります。本製品で利用できる暗号化モードや、Wi-Fi名とWi-Fiパスワードの文字列については、「Wi-Fi設定」(▶P.49)を参照してください。
◎本製品をリセットすると引き継いだ内容もすべて削除されます。

本製品のWi-Fi名／パスワードを確認する

本製品のWi-Fi名とWi-Fiパスワードを確認することができます。

1 Wi-Fi画面で各情報を確認



項目	説明
2.4GHz Wi-Fi名	2.4GHz帯のWi-Fi名を表示します。
2.4GHz Wi-Fiパスワード	2.4GHz帯のWi-Fiパスワードを表示します。
5GHz Wi-Fi名	5GHz帯のWi-Fi名を表示します。
5GHz Wi-Fiパスワード	5GHz帯のWi-Fiパスワードを表示します。

memo

◎各Wi-Fi名のセキュリティ方式やWi-Fi周波数を変更するには、「セキュリティ方式を設定する」（▶P.37）、「Wi-Fi周波数を設定する」（▶P.37）を参照してください。
◎Wi-Fi名とWi-Fiパスワードを変更するには、WebUIを利用します。詳しくは「Wi-Fi設定」（▶P.49）を参照してください。

情報

データ使用量や本体情報、WebUIへの接続方法などの情報を確認できます。

1 メニュー画面で[情報]

情報画面が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



データ使用量を確認する

データ使用量を確認できます。設定したデータ使用量を超えた場合に通知するかどうかを設定することもできます。

1 情報画面で[データ使用量]

「データ使用量」画面が表示されます。



■ データ使用量を確認する

「データ使用量」画面で確認できます。

項目	説明
+A	プラスエリアモードでの使用量を表示します。
合計	スタンダードモードとプラスエリアモードでの使用量の合計を表示します。
設定	データ使用量に関する通知を設定します。

memo

◎ データ使用量は本製品本体でカウントしているため、実際のデータ使用量とは異なる場合があります。また、本製品のリセットやSIMカードの入れ替えをするとデータ使用量はクリアされます。

■ データ使用量の通知を設定する

データ使用量が設定した値を超えた場合の通知方法を設定します。

1 情報画面で[データ使用量]

「データ使用量」画面が表示されます。

2 [設定]→[通知するデータ使用量]／[通知設定]



3 各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
通知するデータ使用量	データ使用量が何GBになったときに通知を行うかを設定します。	1～999GB	29GB
通知設定	「通知するデータ使用量」で設定した値を超えた場合の通知方法を設定します。	通知する、通知して通信を停止する、通知しない	通知する

本体情報を確認する

本製品の情報を確認できます。

1 情報画面で[本体情報]

「本体情報」画面が表示されます。



2 各項目を確認

項目	説明
本体情報	本製品の名称やMACアドレス、WAN IPアドレス（無線）、LAN IPアドレス、ソフトウェアのバージョンなどを表示します。
SIMカード情報	通信事業者名や電話番号、IMEIなどを表示します。
Wi-Fi 5GHz利用時のご注意	Wi-Fi 5GHz利用時の注意事項を表示します。
認証情報	技適マークや無線LAN（Wi-Fi®）周波数帯などの認証情報を表示します。

WebUIへの接続方法を確認する

WebUIに接続するQRコードやURL、WebUIパスワードを確認できます。

1 情報画面で[WebUI情報]

「WebUI情報」画面が表示されます。



2 各項目を設定

項目	説明
QRコード	WebUI接続用のQRコードが表示されます。
WebUI URL	WebUIのURLが表示されます。
初期WebUIパスワード	お買い上げ時のWebUIパスワードが表示されます。

memo

◎WebUIパスワードを変更するには、WebUIを利用します。詳しくは「WebUIパスワード」（▶P.69）を参照してください。

設定

ゲストWi-Fiやモバイルデータ使用のオン／オフや各種モードの設定などができます。

1 メニュー画面で[設定]

設定画面が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



セキュリティ方式を設定する

無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ方式を周波数(2.4GHz／5GHz)ごとに設定します。

1 設定画面で[2.4GHz セキュリティ方式]／[5GHz セキュリティ方式]



2 各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
2.4GHz セキュリティ方式	2.4GHz帯のセキュリティ方式を設定します。	WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3- SAE、WPA2-PSK、なし(オープン)	WPA2-PSK/WPA3-SAE
5GHz セキュリティ方式	5GHz帯のセキュリティ方式を設定します。	WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3- SAE、WPA2-PSK、なし(オープン)	WPA2-PSK/WPA3-SAE

Wi-Fi周波数を設定する

無線LAN(Wi-Fi®)で使用する周波数帯を設定します。5GHz帯を使用する場合は、チャンネルも設定できます。

1 設定画面で[Wi-Fi周波数]



2 周波数帯を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
2.4GHz	2.4GHz帯を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
5GHz	5GHz帯を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
5GHz設定	5GHz帯の使用チャンネルを設定します。	屋内、屋内(W52のみ)、屋外	屋内(W52のみ)

3 5GHz帯のチャンネルを設定する場合は、[5GHz設定]→[屋内]／[屋内(W52のみ)]／[屋外]→メッセージを確認して[OK]

memo

◎5GHz帯の使用については、「5GHz帯の使用について」(▶P.22)をよくお読みください。

ゲストWi-Fiを利用する

ゲスト用のWi-Fi名を使用するかどうかを設定します。

1 設定画面で「ゲストWi-Fi」の[ ]



2 [OK]

ゲストWi-Fiがオンになります。

memo

◎ゲストWi-FiのWi-Fi名やWi-Fiパスワードを確認したり、使用時間などを設定したりするには、WebUIを利用します。詳しくは「ゲストWi-Fi」(▶P.51)を参照してください。

動作モードを設定する

SIMカードによるモバイルネットワーク接続と自宅などの有線WAN接続を併用している場合、より高速なインターネット接続を利用できるモードを設定できます。

1 設定画面で[動作モード]



2 動作モードを設定

項目	説明
自動モード	有線WANによるネットワーク接続を優先的に使用します。
ハイブリッドモード	有線WANおよびSIMカードによるネットワーク接続を併用して、通信速度を向上させます。
ブリッジモード※1	ルーター機能をオフにして、接続された端末は上位ネットワークから直接IPアドレスを取得します。

※1：ブリッジモードは本体背面のWAN/LANポートにのみ適用されます。

memo

◎有線WANとSIMカードによるネットワーク接続を併用しても、一方のネットワークが切断されている場合はもう一方のネットワークが動作します。
◎通信速度はベストエフォート方式となりますので、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

モバイルデータを利用する

モバイルデータ通信を使用するかどうかを設定します。

1 設定画面で「モバイルデータ」の[ ]をタップして[ ]にする

モバイルデータの使用がオフになります。



通信モードを設定する

ネットワークへの通信方法を設定できます。

1 設定画面で[通信モード]



2 通信モードを設定

項目	説明
スタンダードモード	5G、LTE、またはWiMAX2+ネットワークに接続します。
プラスエリアモード※1	5G、LTE、またはWiMAX2+ネットワークに接続します。 「スタンダードモード」より広いエリアでの通信が可能となります。

※1：「プラスエリアモード」に切り替えると、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

ネットワークモードを設定する

使用するモバイルネットワークを設定できます。

1 設定画面で[ネットワークモード]



2 ネットワークモードを設定

項目	説明
5G(推奨)	5Gを優先して使用します。
4G	LTEを使用します。

PINロックを利用する

PINコード(暗証番号)を設定すると、電源を入れたときにPINコードの入力が必要となり、不正使用から保護できます。

・PINコードについては「PINコードについて」(▶P.7)を参照してください。

■PINロックを設定する

1 設定画面で「PINロック」の[ ]



2 [OK]

3 PINコードを入力→[OK]

お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。

・PINコードを入力するとPINロックがオンになり、次回電源を入れたときにPINコードの入力が必要となります。

■PINロックの設定を解除する

1 設定画面で「PINロック」の[ ]

2 PINコードを入力→[OK]

PINロックがオフになります。

■PINコードで認証を行う

PINコードがオンのとき、PIN認証を行うまではインターネットに接続されません。
本製品のディスプレイに、PINロックされていることを示す画面が表示されたら、以下の手順でPIN認証を行ってください。

1 [PINロック解除]

2 PINコード入力欄にPINコードを入力→[OK]

PINロックが解除され、ホーム画面が表示されます。



memo

◎PINコードを変更するには、WebUIを利用します。詳しくは「SIMカード管理」(▶P.68)を参照してください。
◎PINコードは3回連続で間違えるとロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コード(PUKコード)を利用して解除できます。
PINロック解除コード(PUKコード)は、SIMカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
◎PINロック解除コード(PUKコード)を入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
◎PINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えた場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。

APNを切り替える

プロファイル(インターネットサービスプロバイダなどとの接続設定)の切り替えができます。

1 設定画面で[APN]



2 切り替えるAPNをタップ→[適用]

プロファイルの切り替えが完了します。

memo

◎プロファイルを新規作成、編集、削除するには、WebUIを利用します。詳しくは「プロファイル(APN)を設定する」(▶P.46)を参照してください。

画面オフ時間を設定する

本製品の画面を操作していないときに、画面が自動的に消灯するまでの時間を設定します。

1 設定画面で[画面オフ時間]



2 時間を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
画面オフ時間	画面が自動的に消灯するまでの時間を設定します。	15秒、30秒、60秒、120秒	30秒

表示言語を設定する

本製品の表示言語を切り替えます。

1 設定画面で[Language]



2 言語を選択

言語は日本語／英語／中国語／韓国語から選択できます。

・言語を選択後、画面を左右にスワイプして、画面表示が選択した言語に切り替わっていることを確認してください。

memo

◎「Language」の項目名は、他の言語に切り替えた場合も変更されません。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアの更新情報を確認して更新（アップデート）できます。「自動更新」をオンにすると、最新のソフトウェアを検知して自動的にダウンロード、インストールを行います。

・操作方法について詳しくは、「ディスプレイメニューから更新する」（▶P.74）を参照してください。

再起動する

本製品を再起動することができます。

1 設定画面で[再起動]



2 [OK]

本製品が再起動します。

工場出荷状態に戻す

設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 設定画面で[工場出荷状態に戻す]



2 [OK]

本製品がリセットされ、再起動します。

memo

◎ Wi-Fi名やWi-Fiパスワードも工場出荷時の状態に戻ります。
◎ SIMカード管理の設定内容は、本操作を実行しても工場出荷時の状態に戻りません。

WebUIについて

本製品に無線LAN(Wi-Fi®)または付属のEthernet ケーブル(試供品)で接続したパソコンなどのWebブラウザから、WebUIを使用して本製品の各種機能を設定することができます。画面表示や手順はWindows 11で、無線LAN(Wi-Fi®)で接続した場合を例にして説明しています。
・無線LAN(Wi-Fi®)で接続してWebUIを使用する場合、「ゲストWi-Fi」では使用できません。

memo

◎無線LAN(Wi-Fi®)でWebUIに接続して「Wi-Fi設定」(▶P.49)などの設定内容を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)の接続が切れることがあります。再接続するには無線LAN(Wi-Fi®)端末の設定変更が必要になりますのでご注意ください。
◎WebUIを同時に複数の端末でログインして表示/設定することはできません。ログイン中に他の端末がログインした場合は、先にログインしていた端末は自動的にログアウトされます。
◎WebUIの対応しているWebブラウザについては、「動作環境」(▶P.16)の「対応ブラウザ(WebUI対応)」をご参照ください。

WebUIを起動する

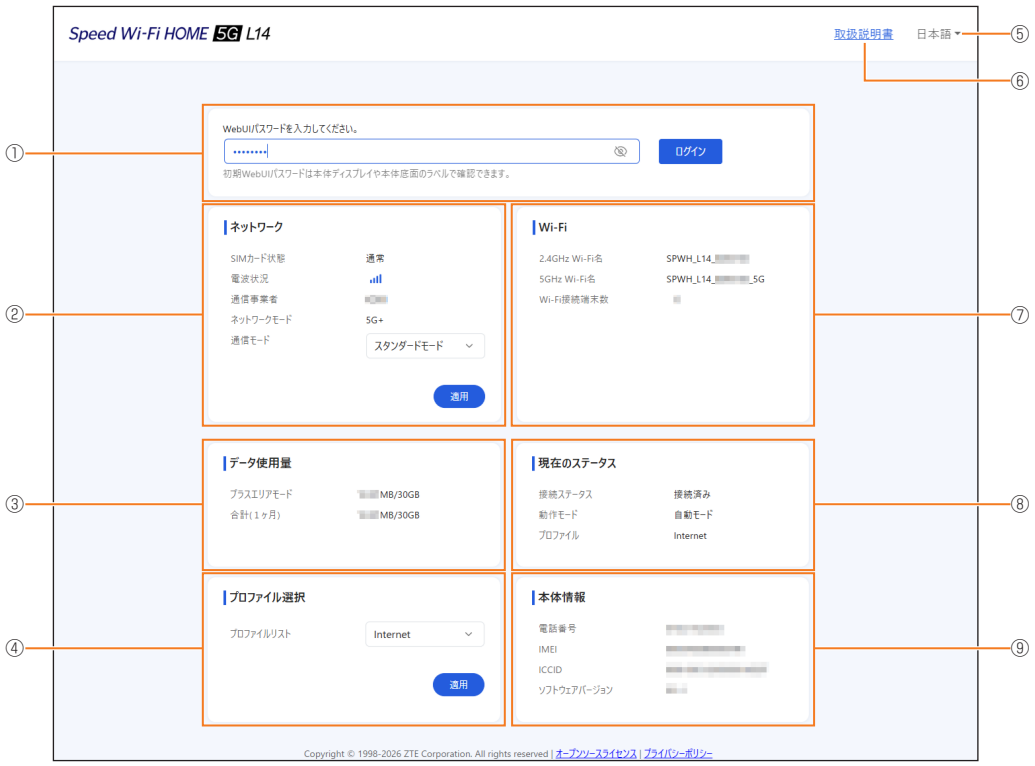
1 本製品の電源を入れる

2 無線LAN(Wi-Fi®)端末を起動し、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)で接続

3 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://speedwifi-home.5g/」と入力

ログイン画面が表示されます。
・アドレス入力欄に「http://192.168.0.1」と入力してもログイン画面を表示できます。

■WebUIのログイン画面



① **ログイン**
WebUIパスワードを入力してWebUIにログインします(▶P.43)。
② **ネットワーク**
ネットワークへの接続状態を表示します。通信モードを切り替えることもできます。
③ **データ使用量**
1ヶ月間の利用データ使用量を表示します。
④ **プロファイル選択**
プロファイルリストからプロファイルを選択します。本製品にはあらかじめ設定されているプロファイル以外に最大9件までプロファイルを追加することができます。ご自分で加入されたインターネットサービスプロバイダの指定に応じて、新しいプロファイルを作成することもできます(▶P.46)。
⑤ **言語設定**
表示する言語を日本語/英語/中国語/韓国語で選択できます。
⑥ **取扱説明書**
本製品の『取扱説明書 詳細版』(本書)のPDFファイルを表示します。
⑦ **Wi-Fi**
2.4GHz/5GHzのWi-Fi名と本製品に接続している機器の数を表示します。
⑧ **現在のステータス**
本製品の現在の通信状態(ステータス)を表示します。
⑨ **本体情報**
電話番号やIMEI、ICCID、ソフトウェアバージョンが表示されます(本製品で音声電話の発着信などは行えません)。

WebUIにログインする

1 ログイン画面(▶P.42)でWebUIパスワードを入力→[ログイン]

- お買い上げ時のWebUIパスワードは、同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」およびディスプレイメニューの「WebUI情報」、底面ラベルに記載されている「初期WebUI PW」で確認できます。
- 初回起動時は、ソフトウェア更新やプライバシーポリシーなどに関する通知画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 [はい]/[いいえ]

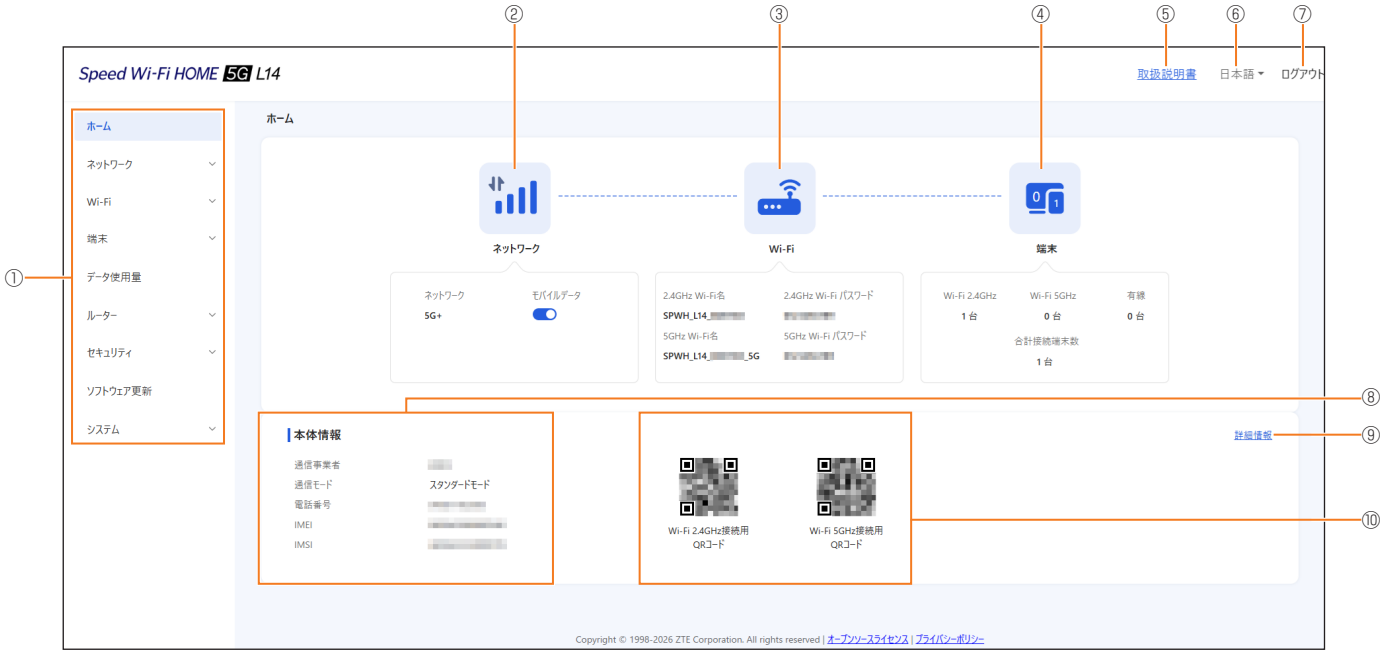
- [いいえ]を選択すると、WebUIのホーム画面が表示されます。
- [はい]を選択すると、「WebUIパスワード」画面が表示されます。画面の指示に従って、新しいWebUIパスワードを設定してください。
- 確認画面の「次回から表示しない」にチェックを付けると、次回のログイン時から確認画面は表示されなくなります。

memo

◎ セキュリティ保護のため、お買い上げ時のWebUIパスワードは変更することをおすすめします。変更方法については、「WebUIパスワード」(▶P.69)を参照してください。
◎ WebUIを約5分間操作しない場合、自動的にログアウトし、ログイン画面に戻ります。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。
◎ WebUIパスワード入力欄の[ ]をクリックして[ ]にすると、入力したWebUIパスワードを確認できます。

各種機能の詳細設定をする(設定)

WebUIのホーム画面



① **メニュー一覧**
メニューの一覧が表示されます。
クリックすると各メニューの設定画面に切り替わります。

② **ネットワーク**
ネットワークの接続状態やネットワークモード、モバイルデータ通信のオン/オフが表示されます。
: 強 ⇔ : 弱 : 圏外
: データの送受信中 : データの送信中 : データの受信中 : データの送受信なし
: 有線WAN接続
アイコンをクリックすると「モバイルネットワーク」画面(▶P.44)が表示され、各項目を設定できます。

③ **Wi-Fi**
2.4GHz帯/5GHz帯のWi-Fi名とWi-Fiパスワードが表示されます。
: Wi-Fiオン(2.4GHzまたは5GHz) : Wi-Fiオフ
アイコンをクリックすると「Wi-Fi設定」画面(▶P.49)が表示され、各項目を設定できます。

④ **端末**
接続中の端末の台数が表示されます。
アイコンをクリックすると「接続中の端末」画面(▶P.54)が表示され、各項目を設定できます。

⑤ **取扱説明書**
『取扱説明書 詳細版』(本書)のPDFファイルを表示します。

⑥ **言語設定**
表示する言語を日本語/英語/中国語/韓国語で選択できます。

⑦ **ログアウト**
WebUIからログアウトします。

⑧ **本体情報**
通信事業者や電話番号、IMEIなどの情報が表示されます。

⑨ **詳細情報**
クリックすると「本体情報」画面(▶P.67)が表示され、IPアドレスやソフトウェアバージョンなどの詳細情報を確認できます。

⑩ **無線LAN(Wi-Fi®)接続用のQRコード**
2.4GHz帯/5GHz帯の接続用QRコードが表示されます。

memo

◎ 各画面で が表示されている場合は、クリックするとヘルプが表示されます。
◎ 有線WAN接続の場合、表示される項目が一部異なります。

ネットワーク

インターネットへの接続設定や電波強度の測定などの操作を行います。

1 ホーム画面でメニュー一覧の[ネットワーク]

ネットワーク設定の一覧が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



モバイルネットワーク

■通信モードを設定する

ネットワークへの通信方法を設定できます。

1 「ネットワーク」メニューから[モバイルネットワーク]

「モバイルネットワーク」画面が表示されます。

2 「通信モード」欄の各項目を設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード設定※1※2	ネットワークへの通信方法を設定します。	スタンダードモード、プラスエリアモード※3	スタンダードモード
プラスエリアモード制限	プラスエリアモードへの切り替えを制限するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

※1：「プラスエリアモード」に設定すると、「スタンダードモード」より広いエリアでの通信が可能となります。
※2：通信モードを切り替えると、無線LAN(Wi-Fi®)の接続が切れることがあります。その場合は無線LAN(Wi-Fi®)端末側で再接続の操作を行ってください。
※3：「プラスエリアモード」を選択して「適用」を選択すると、確認画面が表示されます。「はい」を選択してください。「プラスエリアモード」に切り替えると、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

3 設定が完了したら[適用]

■通信モードの自動切替を設定する

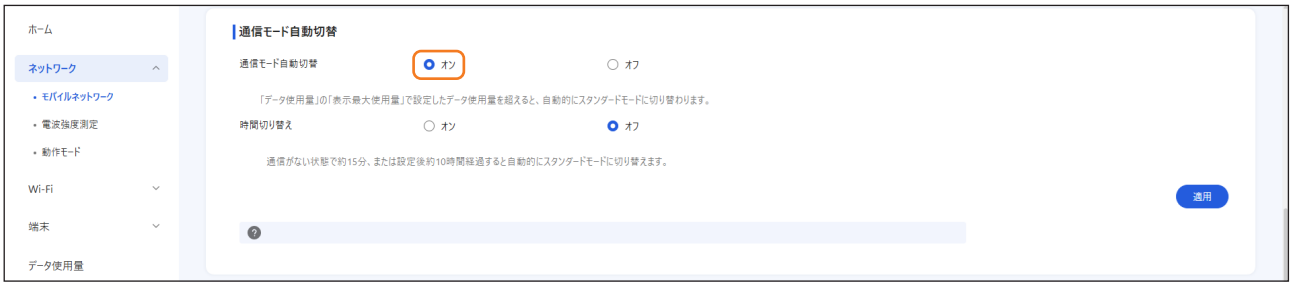
プラスエリアモード使用時のデータ使用量超過を防ぐため、設定したデータ使用量を超えると、自動的にスタンダードモードに切り替えるように設定できます。
また、一定時間経過後にスタンダードモードに切り替えるように設定することもできます。
・自動的に切り替わるデータ使用量やカウント開始日などは「データ使用量設定」(▶P.57)で設定します。

1 「ネットワーク」メニューから[モバイルネットワーク]

「モバイルネットワーク」画面が表示されます。

2 「通信モード自動切替」欄の通信モード自動切替を[オン]

通信モード自動切替の各設定項目が表示されます。



3 「通信モード自動切替」欄の各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
時間切り替え	通信がない状態で約15分、または設定後約10時間経過すると自動的にスタンダードモードに切り替えるかを設定します。	オン、オフ	オフ

4 設定が完了したら[適用]

確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ネットワークを選択する

使用するモバイルネットワークを設定できます。

1 「ネットワーク」メニューから[モバイルネットワーク]

「モバイルネットワーク」画面が表示されます。

2 「ネットワーク選択」欄のネットワークモードを設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
ネットワークモード	優先するモバイルネットワークを設定します。	5G(推奨)、4G	5G(推奨)

3 設定が完了したら[適用]

■プロファイル(APN)を設定する

プロファイル(インターネットサービスプロバイダなどとの接続設定)を新規作成、編集、削除できます。
あらかじめ設定されているプロファイル(Internet)は、編集／削除はできません。

■プロファイルを新規作成する場合

1 「ネットワーク」メニューから[モバイルネットワーク]

「モバイルネットワーク」画面が表示されます。

2 「APN」欄の[追加]



3 各項目を設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大63文字までの半角英数字と半角記号(「.」「!」「#」「(」「)」「*」「+」「%」「-」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」「:」「,」「.」)	(なし)
APN(接続先情報)	アクセスポイント名(APN)を設定します。	最大63文字までの半角英数字と半角記号(「.」「-」)※1	(なし)
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大45文字までの半角英数字と半角記号(「@」「.」「-」「_」「/」)	(なし)
パスワード	パスワードを設定します。	最大16文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「$」「%」「&」「(」「)」「*」「+」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「>」「=」「?」「@」「[」「]」「_」「{」「}」)	(なし)
認証方式	認証方式を設定します。	CHAP、PAP	CHAP
IPタイプ	IPタイプを選択します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6
デフォルトとして設定	作成したプロファイルを利用するかどうかを設定します。	チェックあり、チェックなし	チェックなし

※1：APNの前後には、「.」「-」は使用できません。

4 設定が完了したら[保存]

5 作成したプロファイルを利用するには、「プロファイル」からプロファイルを選択→[適用]

- 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 設定後、「現在のプロファイル」に選択したプロファイルが表示されていることを確認してください。

memo

◎保存できるプロファイルは、工場出荷時に登録されているプロファイル(Internet)以外に最大9件です。

■作成したプロファイルを編集する場合

1 「プロファイル」から編集したいプロファイルを選択

2 [編集]→編集が完了したら[保存]

■ 削除する場合

1 「プロファイル」から削除したいプロファイルを選択

2 [削除]→[はい]

電波強度測定

電波強度を測定し、本製品の最適な設置場所を探すことができます。

1 「ネットワーク」メニューから[電波強度測定]

「電波強度測定」画面が表示されます。



2 本製品をお好みの場所に置き、[測定]

測定が完了すると、電波強度の測定結果が表示されます。

・ 電波強度はS(非常に強い)、A+(強い)、A(中程度)、B(弱い)、C(非常に弱い)の5段階で表示されます。

3 「場所」に名前を入力→[OK]

測定結果が「測定履歴」に表示されます。

4 操作2、3をくり返して、測定結果を比較する

memo

◎ 測定結果は最大10件保存できます。

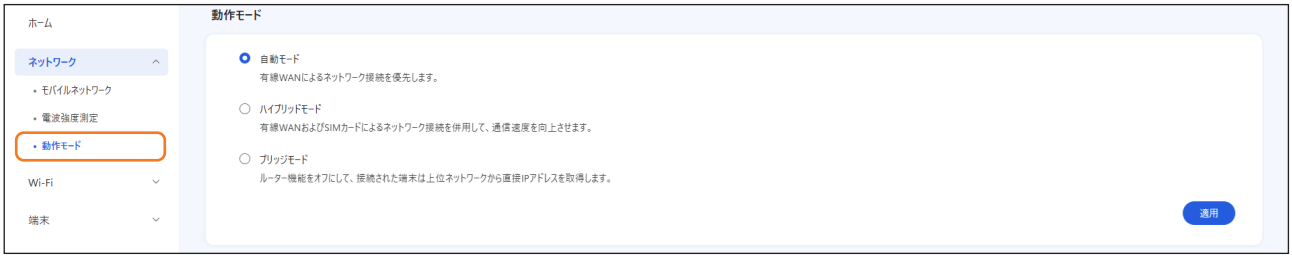
◎ 設置場所については、本書の「注意事項」(▶P.3)をお読みの上、設置に適した場所を選択するようにしてください。

動作モード

SIMカードによるモバイルネットワーク接続と自宅などの有線WAN接続を併用している場合、より高速なインターネット接続を利用できる「ハイブリッドモード」を使用するよう設定できます。

1 「ネットワーク」メニューから[動作モード]

「動作モード」画面が表示されます。



2 動作モードを設定

設定項目	説明
自動モード	有線WANによるネットワーク接続を優先的に使用します。
ハイブリッドモード	有線WANおよびSIMカードによるネットワーク接続を併用して、通信速度を向上させます。
ブリッジモード※1	ルーター機能をオフにして、接続された端末は上位ネットワークから直接IPアドレスを取得します。

※1：ブリッジモードは本体背面のWAN/LANポートにのみ適用されます。

3 設定が完了したら[適用]

確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ 有線WANとSIMカードによるネットワーク接続を併用しても、一方のネットワークが切断されている場合はもう一方のネットワークが動作します。

◎ 通信速度はベストエフォート方式となりますので、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

Wi-Fi

無線LAN(Wi-Fi®)機能の各種設定ができます。

1 ホーム画面でメニュー一覧の[Wi-Fi]

Wi-Fi設定の一覧が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



memo

◎2.4GHzまたは5GHzの／をクリックすると、無線LAN(Wi-Fi®)機能のオン／オフを切り替えできます。
◎「バンドステアリング」の／をクリックすると、2.4GHz／5GHzの周波数帯を自動的に切り替えて、通信を安定させやすくするかどうかを設定できます。
◎「MLO」の／をクリックすると、マルチリンク動作を使用して複数の周波数帯を同時に利用し、より高速化・低遅延化な通信を利用するかどうかを設定できます。

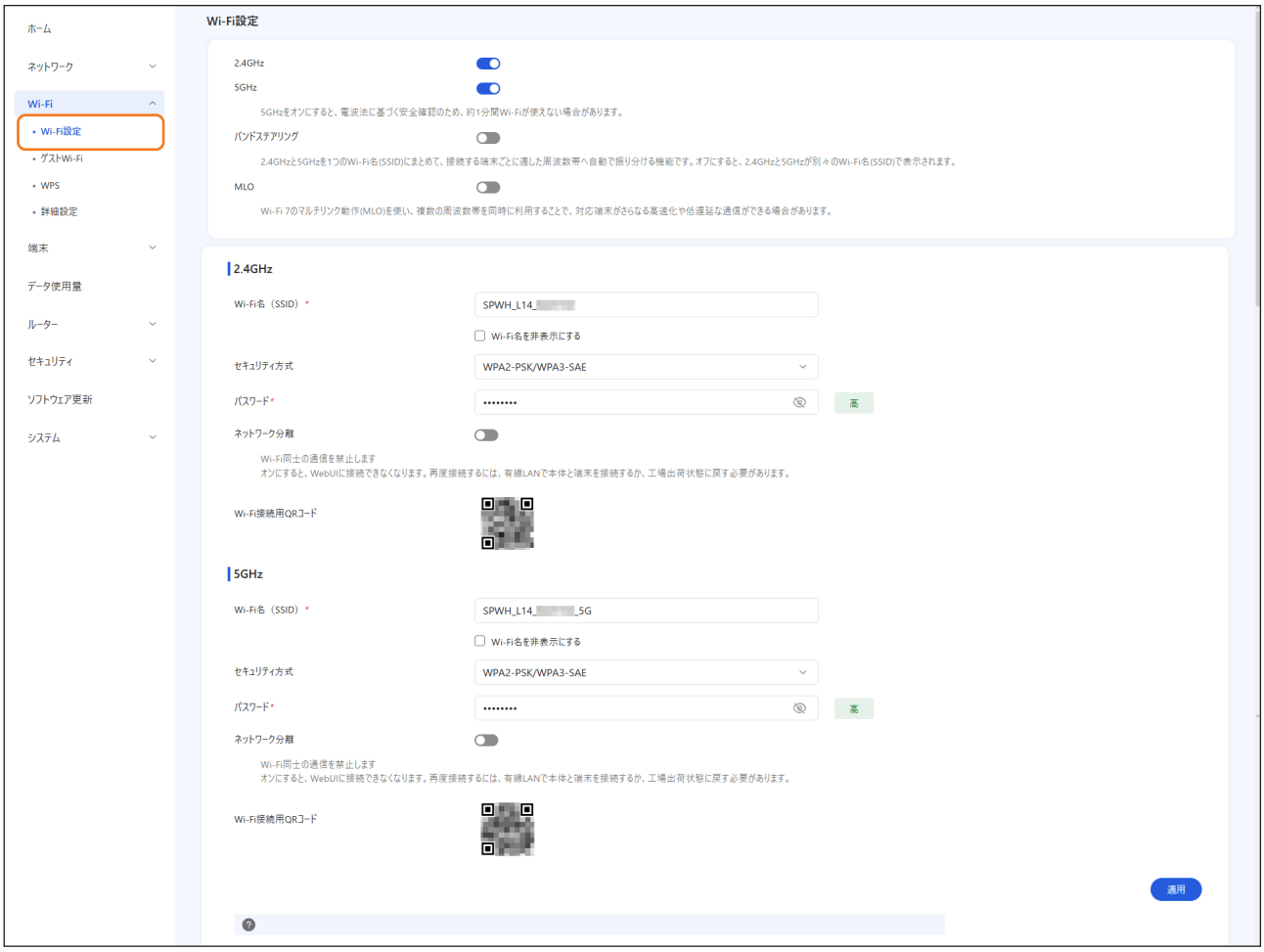
Wi-Fi設定

無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ機能を周波数(2.4GHz／5GHz)ごとに設定できます。

■2.4GHz帯を設定する場合

1 「Wi-Fi」メニューから[Wi-Fi設定]

「Wi-Fi設定」画面が表示されます。



2 「2.4GHz帯」欄の各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi名(SSID)	Wi-Fi名を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「}」「~」「(半角スペース)」)	※1
Wi-Fi名を非表示にする	Wi-Fi名が表示されないようにするかどうかを設定します。	チェックあり、チェックなし	チェックなし
セキュリティ方式	セキュリティ方式を選択します。	なし(オープン)、WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3-SAE	WPA2-PSK/WPA3-SAE
パスワード	使用するWi-Fiパスワードを設定します。※2	8文字以上、最大32文字までの半角英数字(大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です)と半角記号(「!」「#」「$」「*」「+」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」)	※1
ネットワーク分離※3	無線LAN同士の通信を禁止するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレーター※4	無線LAN(Wi-Fi®)端末同士の通信を禁止するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
管理フレームを保護※5	管理フレーム保護(PMF)機能を利用して、セキュリティを強化するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

※1：お買い上げ時のWi-Fi名とWi-Fiパスワードについては、同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」および底面ラベルを参照してください。
※2：画面には文字数の「●」で表示されます。 をクリックして にすると、確認できます。
※3：オンにすると、WebUIに接続できなくなります。再度接続するには、有線LANで本製品と接続するか、工場出荷状態に戻す必要があります。
※4：「ネットワーク分離」をオンにした場合に表示されます。
※5：セキュリティ方式を「WPA2-PSK」にした場合に表示されます。

3 設定が完了したら[適用]

■ 5GHz帯を設定する場合

1 「Wi-Fi」メニューから[Wi-Fi設定]

2 「5GHz帯」欄の各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi名(SSID)	Wi-Fi名を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」「(半角スペース)」)	※1
Wi-Fi名を非表示にする	Wi-Fi名が表示されないようにするかどうかを設定します。	チェックあり、チェックなし	チェックなし
セキュリティ方式	セキュリティ方式を選択します。	なし(オープン)、WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3-SAE	WPA2-PSK/WPA3-SAE
パスワード	使用するWi-Fiパスワードを設定します。※2	8文字以上、最大32文字までの半角英数字(大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です)と半角記号(「!」「#」「$」「*」「+」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「|」「}」「~」)	※1
ネットワーク分離※3	無線LAN同士の通信を禁止するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレーター※4	無線LAN(Wi-Fi®)端末同士の通信を禁止するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
管理フレームを保護※5	管理フレーム保護(PMF)機能を利用して、セキュリティを強化するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

※1：お買い上げ時のWi-Fi名とWi-Fiパスワードについては、同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」および底面ラベルを参照してください。
※2：画面には文字数の「●」で表示されます。 をクリックして にすると、確認できます。
※3：オンにすると、WebUIに接続できなくなります。再度接続するには、有線LANで本製品と接続するか、工場出荷状態に戻す必要があります。
※4：「ネットワーク分離」をオンにした場合に表示されます。
※5：セキュリティ方式を「WPA2-PSK」にした場合に表示されます。

3 設定が完了したら[適用]

memo

◎一部のゲーム機など、WEP対応の機器では接続できない場合がありますのでご注意ください。
◎「Wi-Fi名を非表示にする」をオンにした場合でも、本製品と接続したことのある無線LAN(Wi-Fi®)端末は自動的に再接続できます。また、一度も接続したことがない無線LAN(Wi-Fi®)端末では本製品を検出できなくなります。
◎セキュリティ方式を「なし(オープン)」に設定すると、Wi-Fiパスワードの入力をせずに本製品にアクセスすることができますが、意図しない相手のアクセスを許可することになりますのでご注意ください。

ゲストWi-Fi

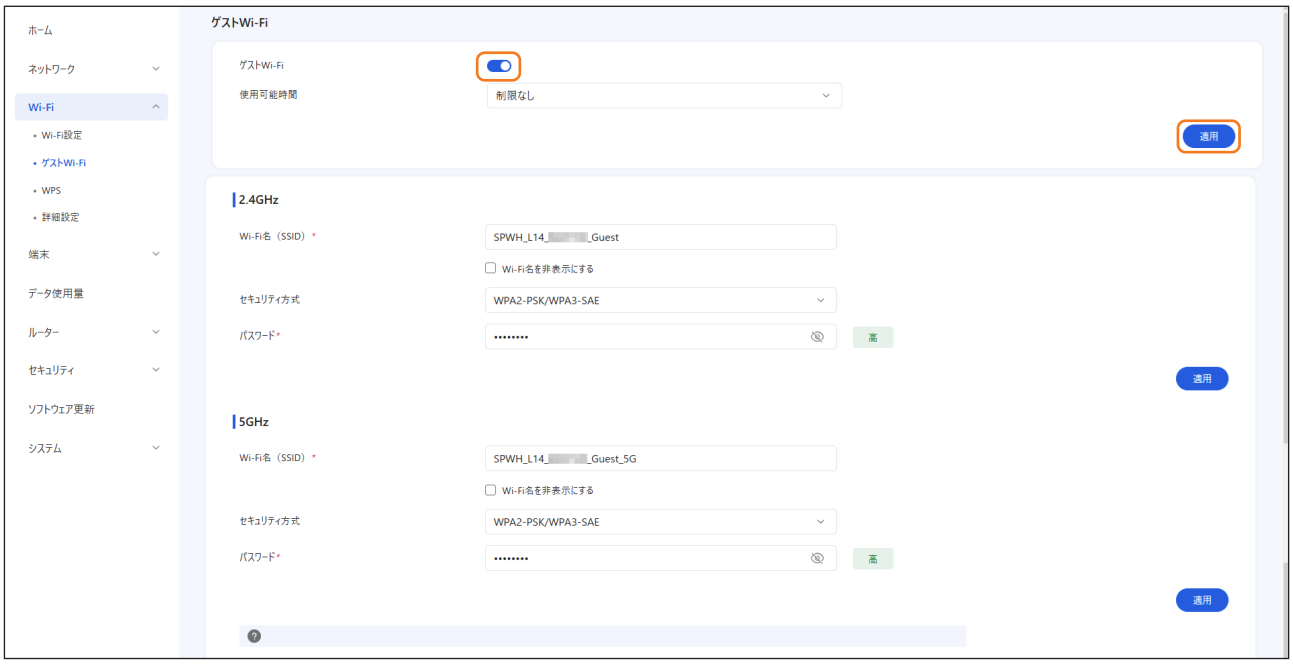
ゲスト用のWi-Fi名を設定できます。
家を訪ねてきた友人や家族などが、一時的または無制限に本製品を利用してインターネットを楽しむことができます。

1 「Wi-Fi」メニューから[ゲストWi-Fi]

「ゲストWi-Fi」画面が表示されます。

2 ゲストWi-Fiの[ ]をクリックして[ ]にする→[適用]

ゲストWi-Fiの各設定項目が表示されます。



3 2.4GHz／5GHzの各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
使用可能時間	アクセス可能な時間を制限するかどうかを設定します。	制限なし、2時間、4時間、8時間、12時間	制限なし
Wi-Fi名(SSID)	Wi-Fi名を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」「(半角スペース)」)	※1
Wi-Fi名を非表示にする	Wi-Fi名が表示されないようにするかどうかを設定します。	チェックあり、チェックなし	チェックなし
セキュリティ方式	セキュリティ方式を選択します。	なし(オープン)、WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3-SAE	WPA2-PSK/WPA3-SAE
パスワード	使用するWi-Fiパスワードを設定します。※2	8文字以上、最大32文字までの半角英数字(大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です)と半角記号(「!」「#」「$」「*」「+」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「|」「}」「~」)	(製品ごとに異なる)
管理フレームを保護※3	管理フレーム保護(PMF)機能を利用して、セキュリティを強化するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

※1：お買い上げ時のゲストWi-FiのWi-Fi名は、ゲストWi-Fiの設定をオンにしたときに確認できます。
※2：画面には文字数の「●」で表示されます。 をクリックして にすると、確認できます。
※3：セキュリティ方式を「WPA2-PSK」にした場合に表示されます。

4 設定が完了したら[適用]

memo

◎ ゲストWi-Fiに接続できる無線LAN(Wi-Fi®)端末の最大接続台数は、他のWi-Fi名と合わせて最大128台となります。
◎ ゲストWi-Fiに接続している機器からは、接続している他の機器、LAN接続端子に接続している機器への接続はできません。また、WebUIにもアクセスできません。
◎ セキュリティ方式を「なし(オープン)」に設定すると、Wi-Fiパスワードの入力をせずに本製品にアクセスすることができますが、意図しない相手のアクセスを許可することになりますのでご注意ください。
◎ 一部のゲーム機など、WEP対応の機器では接続できない場合がありますのでご注意ください。

WPS

WPS機能を利用するかどうかを周波数(2.4GHz／5GHz)ごとに設定します。

1 「Wi-Fi」メニューから[WPS]

「WPS」画面が表示されます。

2 各項目を設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS(Wi-Fi 2.4GHz)	WPSを利用するWi-Fi名(2.4GHz)を選択します。	(リスト項目)※1	※2
WPS(Wi-Fi 5GHz)	WPSを利用するWi-Fi名(5GHz)を選択します。	(リスト項目)※1	※2

※1：ゲストWi-Fi(▶P.51)をオンにするとゲストWi-Fiも表示されます。
※2：お買い上げ時のWi-Fi名とWi-Fiパスワードについては、同梱の「Wi-Fi初期設定(シール)」および底面ラベルを参照してください。

3 設定が完了したら[適用]

詳細設定

無線LAN(Wi-Fi®)の詳細機能を設定できます。

1 「Wi-Fi」メニューから[詳細設定]

「詳細設定」画面が表示されます。

2 各項目を設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi互換モード	通信速度を抑えて、古い無線LAN(Wi-Fi®)端末と接続しやすくなるように設定します。	オン、オフ	オフ
2.4GHz詳細設定			
通信規格	無線LAN(Wi-Fi®)機能の動作モードを選択します。	802.11b/g/n、802.11b/g/n/ax、802.11b/g/n/ax/be	802.11b/g/n/ax/be
帯域幅	Wi-Fiの帯域幅を選択します。	20MHz、40MHz、20MHz/40MHz	40MHz
Wi-Fiチャンネル	使用チャンネルを選択します。	自動、2412MHz チャンネル1～2472MHz チャンネル13	自動
最大接続可能数	無線LAN(Wi-Fi®)端末の最大接続台数を表示します。	−	64
5GHz詳細設定			
通信規格	無線LAN(Wi-Fi®)機能の動作モードを選択します。	802.11aのみ、802.11a/n、802.11a/n/ac、802.11a/n/ac/ax、802.11a/n/ac/ax/be	802.11a/n/ac/ax/be
帯域幅	Wi-Fiの帯域幅を選択します。※1	20MHz、20MHz/40MHz、20MHz/40MHz/80MHz、20MHz/40MHz/80MHz/160MHz	20MHz/40MHz/80MHz/160MHz
Wi-Fiチャンネル	使用チャンネルを選択します。	屋内、屋内(W52のみ)、屋外	屋内(W52のみ)
最大接続可能数	無線LAN(Wi-Fi®)端末の最大接続台数を表示します。	−	64
Wi-Fiカバレッジ	Wi-Fi通信の強さを設定します。	狭い、標準、広い	広い

※1：通信規格の設定によって、固定になる項目があります。

3 設定が完了したら[適用]

memo

◎本設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)で本製品に接続できなくなることがあります。接続できなくなった場合は、変更した内容にあわせて無線LAN(Wi-Fi®)端末の設定を変更してください。
◎5GHz帯の使用については、「5GHz帯の使用について」(▶P.22)をよくお読みください。

端末

接続中の端末の詳細情報を確認したり、インターネット接続の拒否／許可を設定したりできます。

1 ホーム画面でメニュー一覧の[端末]

端末設定の一覧が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



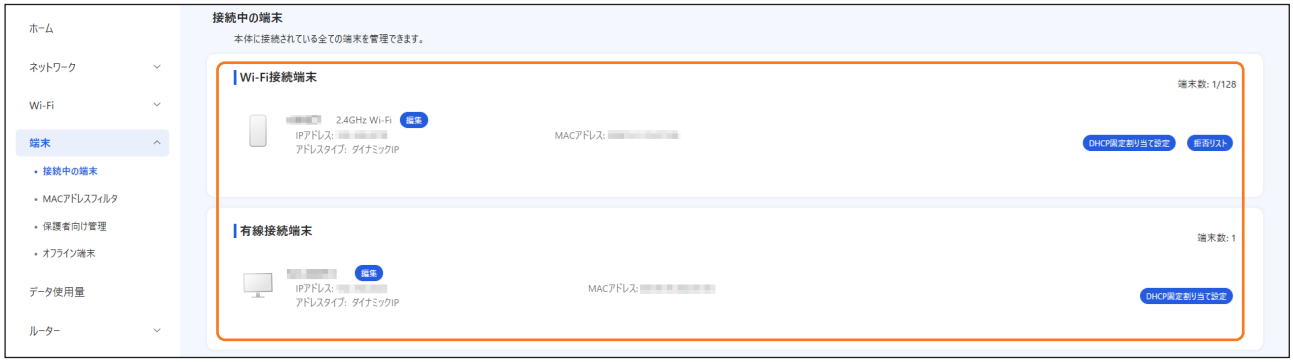
接続中の端末

接続中の端末の詳細情報を確認します。

1 「端末」メニューから[接続中の端末]

「接続中の端末」画面が表示されます。

2 各項目を確認



項目	説明
Wi-Fi接続端末	無線LAN(Wi-Fi®)で接続されている端末の一覧を表示します。
有線接続端末	有線で接続されている端末の一覧を表示します。

memo

◎端末名の「編集」をクリックすると端末名を編集できます。
◎「DHCP固定割り当て設定」をクリックするとMACアドレスとIPアドレスを編集できます。
◎「拒否リスト」をクリックするとMACアドレスフィルタ(▶P.55)の「拒否リスト」に登録されます。

MACアドレスフィルタ

接続する端末のインターネット接続の拒否／許可を設定できます。

1 「端末」メニューから[MACアドレスフィルタ]

「MACアドレスフィルタ」画面が表示されます。

2 「MACアドレスフィルタ」欄の[許可リスト]／[拒否リスト]→[適用]

拒否リスト／許可リストのどちらを作成するかが設定されます。



3 許可リストまたは拒否リストの[追加]→各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
端末名	端末の名前を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「$」「&」「:」「*」「'」「(」「)」「-」「.」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「}」「|」「}」「~」「(半角スペース)」）	（なし）
MACアドレス	端末のMACアドレスを入力します。	00～FFの6組の番号	（なし）

4 設定が完了したら[保存]

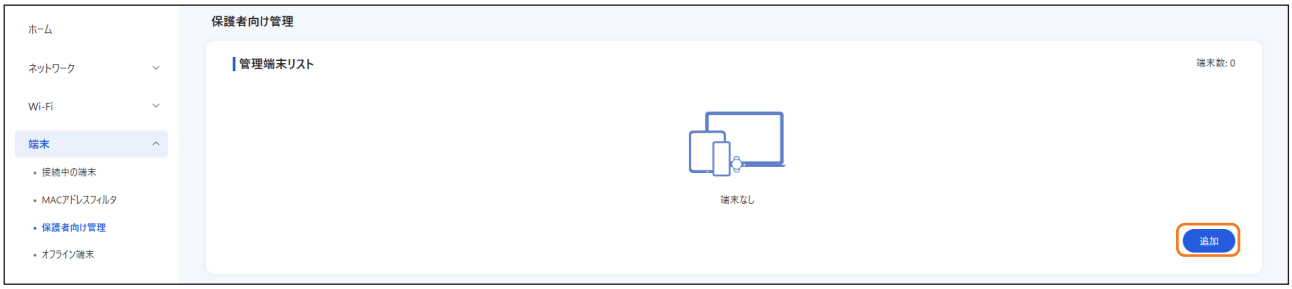
保護者向け管理

接続中の端末や過去に接続した端末に対して、利用時間などの制限を設定します。

1 「端末」メニューから[保護者向け管理]

「保護者向け管理」画面が表示されます。

2 [追加]



3 管理する端末にチェックを付ける→[選択]

4 [設定]→各項目を設定

設定項目		説明	設定範囲	初期値
クイックコントロール	インターネット接続一時停止	インターネット接続を一時的に停止します。	今すぐ停止、10分後に停止、30分後に停止、60分後に停止、	－
	すべて許可	本日中の接続をすべて許可します。	オン、オフ	オフ
インターネット接続可能時間設定		インターネット接続可能な時間帯や曜日を設定します。	00:00～23:59 日～土	（なし）
インターネット接続不可リスト		インターネット接続できないURLを設定します。	－	（なし）
ヘルプ		ヘルプを表示します。	－	－

5 設定が完了したら[保存]

memo

◎「編集」／「削除」をクリックすると端末名の編集や削除ができます。

オフライン端末

過去に接続した端末を一覧で表示します。

1 「端末」メニューから[オフライン端末]

「オフライン端末」画面が表示され、過去に接続した端末が一覧で表示されます。



memo

◎「編集」／「削除」をクリックすると端末名の編集や削除ができます。

データ使用量

データ使用量の表示に関する設定を行います。通信モードごとにデータ使用量の確認ができ、設定したデータ使用量を超えた場合には、ディスプレイに通知を表示することができます。

1 ホーム画面でメニュー一覧の[データ使用量]

「データ使用量」画面が表示されます。



■データ使用量を確認する

「データ使用量(1ヶ月)」で確認できます。

プラスエリアモード	カウント開始日からその日までのプラスエリアモードでのデータ使用量を表示します。
合計	カウント開始日からその日までのデータ使用量の合計を表示します。

memo

◎データ使用量は本製品本体でカウントしているため、実際のデータ使用量とは異なる場合があります。また、本製品のリセットやSIMカードの入れ替えをするとデータ使用量はクリアされます。

■カウントされたデータ使用量をクリアする

[データ使用量をリセット]→[はい]と操作すると、カウントされたデータ使用量をクリアできます。

- カウントされたデータ使用量をクリアすると、「通信モード自動切替」機能が正しく動作しない可能性があります。

■データ使用量の表示を設定する

1 「データ使用量設定」欄の各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
表示最大使用量※1	データ使用量表示の基準値を設定します。	30～999GB	30GB
カウント開始日※2	データ使用量のカウント開始日を設定します。	1～31	1
通知設定	「通知するデータ使用量」欄で設定した値を超えた場合に通知を行うかどうかを設定します。	通知しない、通知する、通知して通信を停止	通知する
通知するデータ使用量	通知を行うデータ使用量を設定します。	1～999GB	29GB

※1：通信モード自動切替(▶P.45)をオンに設定している場合は、ここで設定した値を超えたときに自動的に切り替わります。

※2：「カウント開始日」を毎月31日に設定したとき、31日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。「カウント開始日」を変更すると、「通信モード自動切替」機能が正しく動作しない可能性があります。

2 設定が完了したら[適用]

memo

◎ネットワークから日付・時刻情報を取得できなかった場合、累計(カウントを開始した日からの合計)のデータ使用量が表示されます。日付・時刻情報を取得できると、当月のデータ使用量が表示されます。

◎「通信モード自動切替」(▶P.45)機能の設定によって、変更できない項目があります。

ルーター

本製品のIPアドレスやDHCP固定割り当て、DDNSなどに関する設定ができます。

1 ホーム画面でメニュー一覧の[ルーター]

ルーター設定の一覧が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



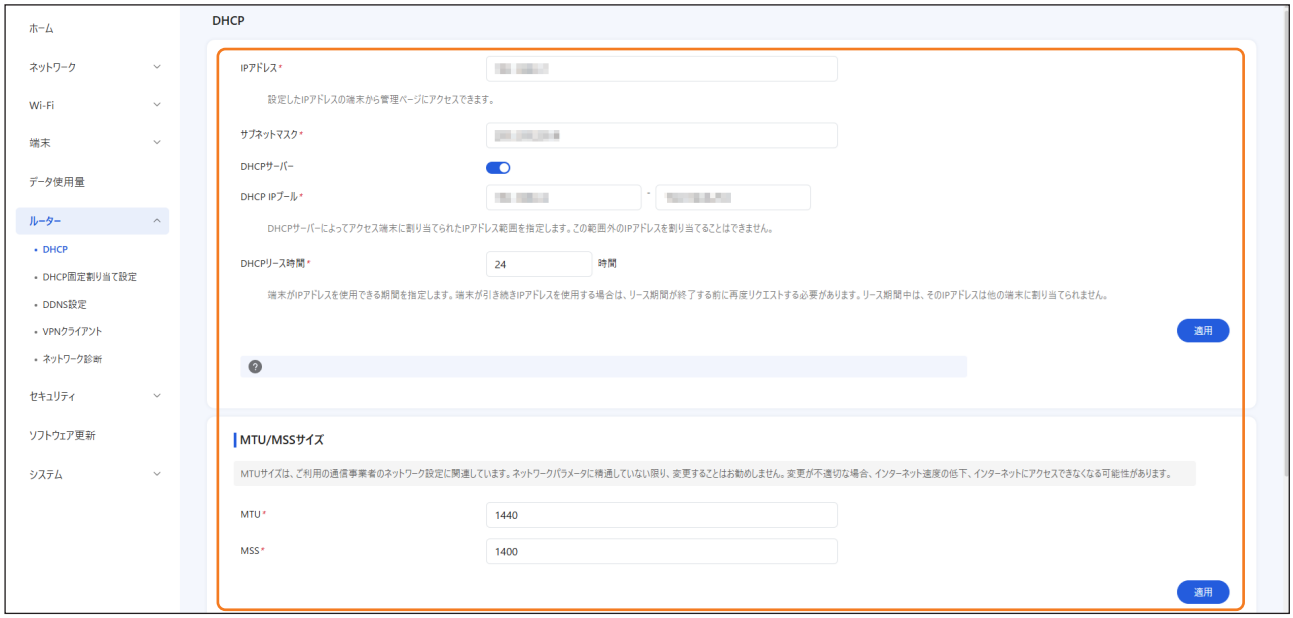
DHCP

本製品のIPアドレスなどを設定できます。

1 「ルーター」メニューから[DHCP]

「DHCP」画面が表示されます。

2 各項目を設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本製品のプライベートIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.0.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0～255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバー	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
DHCP IPプール	DHCPサーバによってアクセス端末に割り当てられたIPアドレス範囲を指定します。	0～255の4組の番号	192.168.0.2 - 192.168.0.253
DHCPリース時間	端末がIPアドレスを使用できる時間を設定します。	1～65535	24
MTU※1	1回の通信で送信可能な最大のデータサイズを設定します。	1300～1440	1440
MSS※1	受信可能な最大のセグメントサイズを設定します。	1260～1400	1400

※1：ネットワーク接続に問題がない場合は変更しないでください。

3 設定が完了したら[適用]

DHCP固定割り当て設定

固定のMACアドレスやIPアドレスを割り当てます。

1 「ルーター」メニューから[DHCP固定割り当て設定]

「DHCP固定割り当て設定」画面が表示されます。

2 [追加]



3 各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MACアドレス	割り当てるMACアドレスを設定します。	00～FFの6組の番号	(なし)
IPアドレス	固定のIPアドレスを割り当てるようにするかどうかを設定します。	0～255の4組の番号	(なし)

4 設定が完了したら[保存]

5 [再起動]→[はい]

本製品が再起動し、DHCP固定割り当てが有効になります。

DDNS設定

IPアドレスが変更された場合でも同じドメイン名でアクセスできるようにするかどうかを設定します。

1 「ルーター」メニューから[DDNS設定]

「DDNS設定」画面が表示されます。

2 DDNS設定の[ ]をクリックして[ ]にする



3 各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DDNSモード	IPアドレスの変更をサーバーに通知する方法を設定します。	手動、自動	自動
ダイナミックDNSプロバイダー	DDNSを利用するプロバイダーを設定します。	no-ip.com、zoneedit.com、dyndns.org、freedns.afraid.org	no-ip.com
ユーザー名	DDNSを利用するユーザー名を入力します。	最大30文字までの半角英数字と半角記号(「`」「~」「!」「@」「#」「$」「%」「^」「&」「*」「(」「)」「_」「-」「+」「=」「{」「[」「]」「}」「\」「:」「;」「"」「'」「<」「,」「>」「.」「?」「/」)	(なし)
パスワード	DDNSを利用するパスワードを入力します。	最大30文字までの半角英数字と半角記号(「`」「~」「!」「@」「#」「$」「%」「^」「&」「*」「(」「)」「_」「-」「+」「=」「{」「[」「]」「}」「\」「:」「;」「"」「'」「<」「,」「>」「.」「?」「/」)	(なし)
ドメイン名	DDNSを利用するドメイン名を入力します。	−	(なし)
DDNS状態	DDNSの利用状況を表示します。	−	−

4 設定が完了したら[適用]

VPNクライアント

仮想プライベートネットワーク（VPN）を設定します。

1 「ルーター」メニューから［VPNクライアント］

「VPNクライアント」画面が表示されます。

2 各項目を設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
VPNタイプ	VPNタイプを設定します。	PPTP、L2TP、GRE、IPsec	PPTP
サーバーのIPアドレス/URL	VPNを利用するIPアドレスまたはURLを設定します。	0～255の4組の番号／URL	（なし）
ユーザー名	ユーザー名を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「$」「&」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「%」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」「（半角スペース）」）	（なし）
パスワード	パスワードを入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「$」「&」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「%」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」「（半角スペース）」）	（なし）
自動的に接続	自動的に接続するかどうかを設定します。	チェックあり、チェックなし	チェックあり

3 設定が完了したら［適用］

「VPN接続ステータス」欄に接続状況が表示されます。
［接続］／［切断］をクリックすると手動で接続／切断できます。

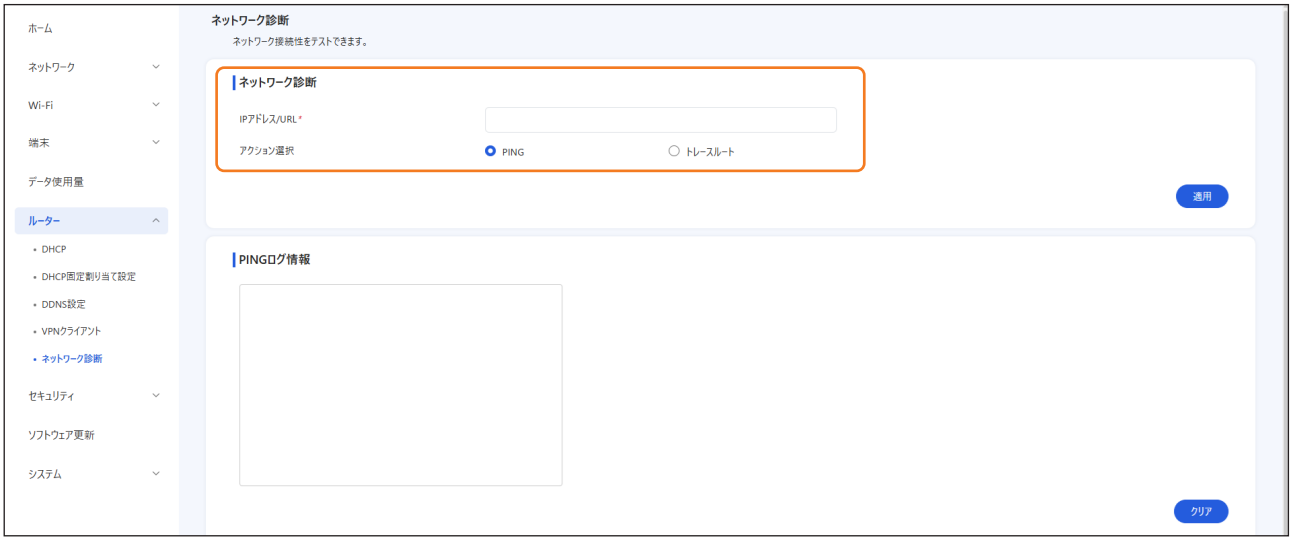
ネットワーク診断

ネットワークの応答速度や経路を確認します。

1 「ルーター」メニューから[ネットワーク診断]

「ネットワーク診断」画面が表示されます。

2 「ネットワーク診断」欄の各項目を設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス/URL	PING／トレースルートコマンドを実行するIPアドレスまたはURLを入力します。	0～255の4組の番号／URL	（なし）
アクション選択	使用するコマンドを選択します。	PING、トレースルート	PING

3 設定が完了したら[適用]

「PINGログ情報」欄または「トレースルートログ情報」欄に確認結果が表示されます。

セキュリティ

フィルタリングやポートマッピングなどセキュリティに関する設定ができます。

1 ホーム画面でメニュー一覧の[セキュリティ]

セキュリティ設定の一覧が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



フィルタリング設定

設定したルールに従い、インターネット通信時にLAN側の送信元とインターネットの送信先の各アドレスから、ファイアウォール通過を許可するかどうかを判断します。最大10件まで登録できます。

memo

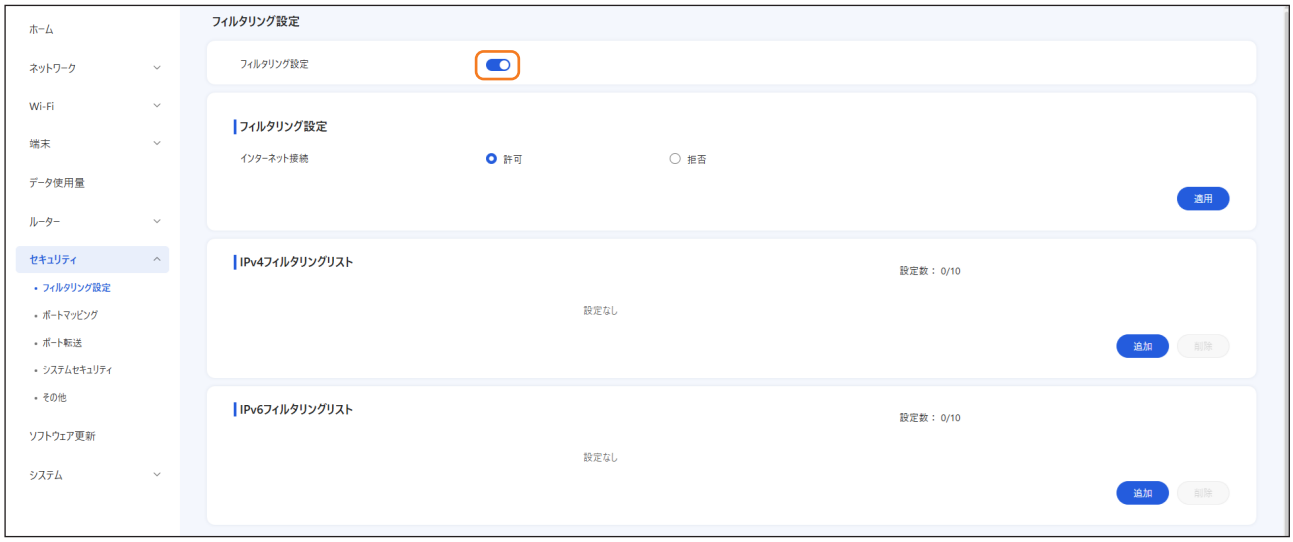
◎サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。

1 「セキュリティ」メニューから[フィルタリング設定]

「フィルタリング設定」画面が表示されます。

2 フィルタリング設定の[ ]をクリックして[ ]にする

フィルタリング設定の各設定項目が表示されます。



3 インターネット接続の[許可]／[拒否]→[適用]

フィルタリング機能の動作モードが設定されます。

4 「IPv4フィルタリングリスト」欄または「IPv6フィルタリングリスト」欄の[追加]→各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MACアドレス	接続を許可、または拒否する無線LAN(Wi-Fi®)端末のMACアドレスを設定します。	00～FFの6組の番号	(なし)
送信元IPアドレス	フィルタリングする送信元IPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	(なし)
送信先IPアドレス	フィルタリングする送信先IPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	(なし)
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	ALL、TCP、UDP、ICMP	ALL
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	接続する、接続しない	接続しない
コメント	フィルタリングルールのコメントを入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」)	(なし)

5 設定が完了したら[保存]

■ 登録したルールを削除する場合

1 フィルタリングリストから、削除したいルールにチェックを付ける→[削除]

2 [はい]

・ 必要に応じて操作1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

ポートマッピング

インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるように設定します。サーバやFTPを公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセンジャーソフトなどを使用する場合に設定します。最大10件まで登録できます。

memo

◎ この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、公開するサーバには、「フィルタリング設定」(▶P.62)で割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。

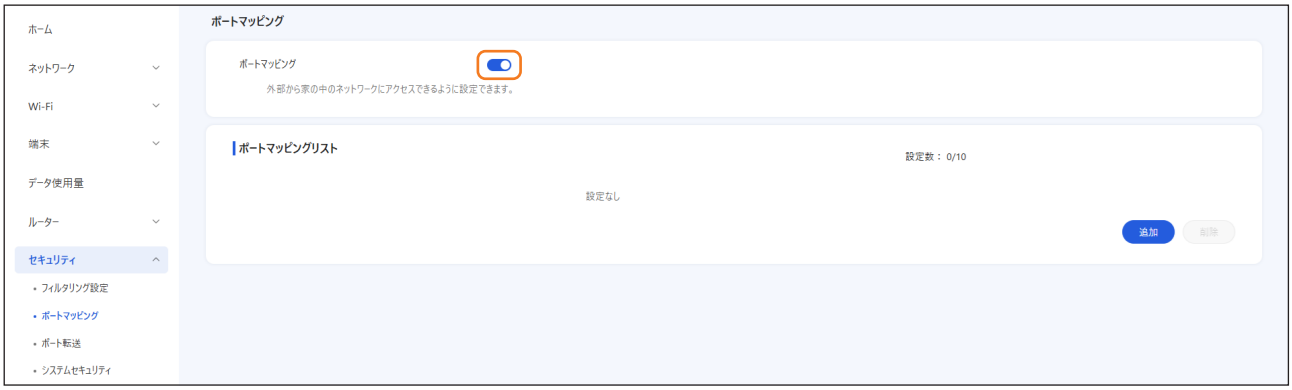
◎ セキュリティ対策などでポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。

1 「セキュリティ」メニューから[ポートマッピング]

「ポートマッピング」画面が表示されます。

2 ポートマッピングの[ ]をクリックして[ ]にする

ポートマッピングの各設定項目が表示されます。



3 「ポートマッピングリスト」欄の[追加]→各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
送信元ポート	ルールを適用するWAN側(送信元)ポート番号を設定します。	1～65000	(なし)
送信先IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	(なし)
送信先ポート	サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する場合の送信先ポート番号を設定します。	1～65000	(なし)
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP+UDP、TCP、UDP	TCP+UDP
コメント	ポートマッピングルールのコメントを入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」)	(なし)

4 設定が完了したら[保存]

■ 登録したルールを削除する場合

1 ポートマッピングリストから、削除したいルールにチェックを付ける→[削除]

2 [はい]

・ 必要に応じて操作1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

ポート転送

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特定のアプリケーションが利用できるようにします。最大10件まで登録できます。

memo

◎アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。

1 「セキュリティ」メニューから[ポート転送]

「ポート転送」画面が表示されます。

2 ポート転送の[ ]をクリックして[ ]にする

ポート転送の各設定項目が表示されます。



3 「ポート転送リスト」欄の[追加]→各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	ポートを開放するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	（なし）
送信元ポート範囲	フィルタリングするポート番号を設定します。	1～65535	（なし）
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP+UDP、TCP、UDP	TCP+UDP
コメント	ポート転送ルールのコメントを入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」）	（なし）

4 設定が完了したら[保存]

■ 登録したルールを削除する場合

1 ポート転送リストから、削除したいルールにチェックを付ける→[削除]

2 [はい]

・必要に応じて操作1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

システムセキュリティ

WAN側からのPING応答要求を有効にするかどうかを設定します。

1 「セキュリティ」メニューから[システムセキュリティ]

「システムセキュリティ」画面が表示されます。

2 WAN側のPING応答の[ ]をクリックして[ ]にする



設定項目	説明	設定範囲	初期値
WAN側のPING応答	WAN側からのPINGに応答するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

その他

UPnPやDMZなどの設定ができます。

■UPnP

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセンジャーソフトなどのUPnP対応アプリケーションを使用するときに設定します。

1 「セキュリティ」メニューから[その他]

「その他」画面が表示されます。

2 UPnPの[ ]をクリックして[ ]にする



■DMZ

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定することができます。Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用するときに、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。

1 「セキュリティ」メニューから[その他]

「その他」画面が表示されます。

2 DMZ設定の[ ]をクリックして[ ]にする

IPアドレスの入力欄が表示されます。

3 IPアドレスを設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	DMZ設定が有効のとき、DMZホストのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	（なし）

4 設定が完了したら[適用]

■NAT

NAT(Network Address Translation)機能を利用して、家庭内の端末のIPアドレスを、インターネット用のIPアドレスに変換します。本機能はルーターモードでのみ有効です。

1 「セキュリティ」メニューから[その他]

「その他」画面が表示されます。

2 NATの[ ]をクリックして[ ]にする



■SIP ALG

NAT配下のプライベートネットワーク端末が変更を加えることなくパブリックネットワーク上のSIPソフトスイッチと正常に通信できるようにサポートします。

1 「セキュリティ」メニューから[その他]

「その他」画面が表示されます。

2 SIP ALGの[ ]をクリックして[ ]にする



ソフトウェア更新

最新のソフトウェアの更新情報を確認して更新(アップデート)できます。
「自動更新」をオンにすると、最新のソフトウェアを検知して自動的にダウンロード、インストールを行います。

- 操作方法について詳しくは、「WebUIから更新する」(▶P.74)を参照してください。

システム

PINロックの設定やWebUIパスワードの変更、工場出荷状態に戻すなどの操作ができます。

1 ホーム画面でメニュー一覧の[システム]

システム設定の一覧が表示されます。

2 確認・設定する項目を選択



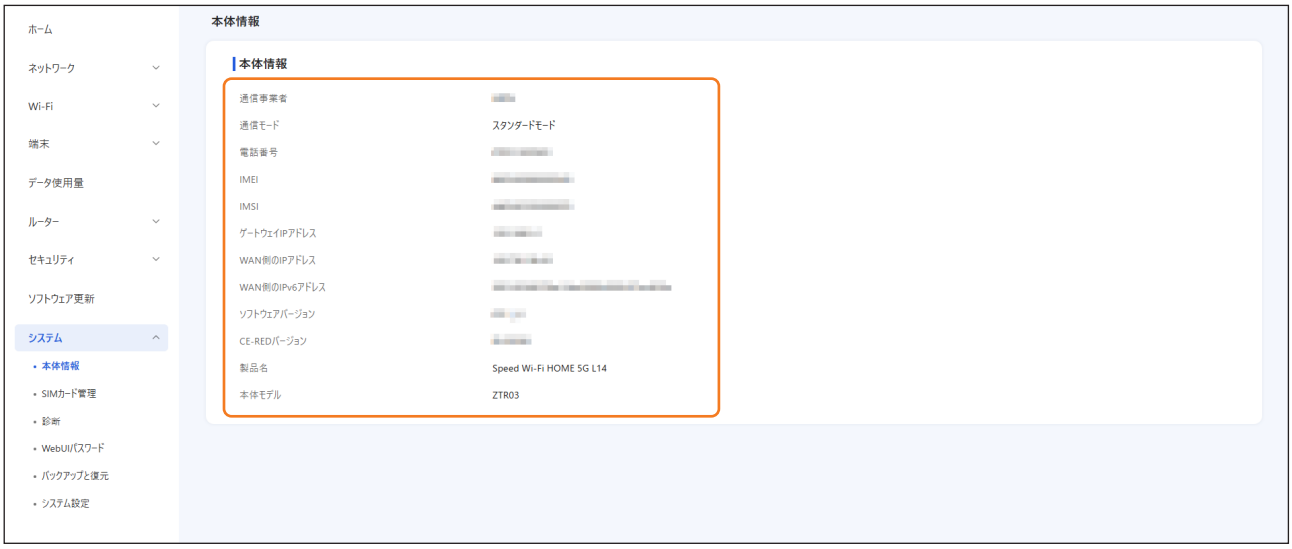
本体情報

通信事業者やIMEI、IPアドレス、ソフトウェアバージョンなどの情報を確認できます。

1 「システム」メニューから[本体情報]

「本体情報」画面が表示されます。

2 各項目を確認



SIMカード管理

SIMカードにPIN(暗証番号)を設定すると、本製品の電源を入れたときにPINコードの入力が必要となり、不正使用から保護できます。
• PINコードやPINロック解除コード(PUKコード)については「PINコードについて」(▶P.7)を参照してください。

1 「システム」メニューから[SIMカード管理]

「SIMカード管理」画面が表示されます。

■ PINコードを有効にする場合

1 「SIMカードのPINロック」の[ ]をクリックして[ ]にする



2 PINコード入力欄にPINコードを入力

• お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。

3 入力が完了したら[適用]

• 次回、起動時より有効になります。

■ PINコードを無効にする場合

1 「SIMカードのPINロック」の[ ]をクリックして[ ]にする

2 PINコード入力欄にPINコードを入力

3 入力が完了したら[適用]

■ PINコードを変更する場合

PINコードが有効のとき、必要に応じて4～8桁のお好きな番号にPINコードを変更することができます。

1 「PINコード変更」欄で各項目を設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のPINコード	現在設定されているPINコードを入力します。	−	(なし)
新しいPINコード	PINコードを変更する場合に、新しいPINコードを入力します。	4～8桁の数字	(なし)
新しいPINコード(再入力)	確認のため、新しいPINコードを再入力します。	4～8桁の数字	(なし)

2 設定が完了したら[適用]

■ 認証を行う

PINコードが有効のとき、PIN認証を行うまではインターネットに接続されません。以下の手順でPIN認証を行ってください。

■ WebUIでPIN認証を行う

WebUIを起動してログインすると、PINコードの入力画面が表示されます。



1 PINコード入力欄にPINコードを入力

2 [適用]

インターネットに接続されます。

memo

◎PINコードは対応するWebブラウザが搭載された端末機器でのみ入力できます。
◎PINコードは3回連続で間違えるとロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コード(PUKコード)を利用して解除できます。
PINロック解除コード(PUKコード)は、SIMカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
◎PINロック解除コード(PUKコード)を入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
◎PINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えた場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。

診断

現在のネットワーク／Wi-Fi®やセキュリティなどの状態を診断できます。

1 「システム」メニューから[診断]

「診断」画面が表示されます。

2 [診断]

診断結果が表示されます。



memo

◎各項目の「設定する」をクリックすると設定画面が表示されます。

WebUIパスワード

WebUIのログイン時に入力するパスワードを変更できます。

1 「システム」メニューから[WebUIパスワード]

「WebUIパスワード」画面が表示されます。

2 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力

WebUIパスワードは、8文字以上、最大32文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「$」「*」「+」「,」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「|」「}」「~」「(」「)」「/」「(半角スペース)」)で設定します。

- パスワードには大文字･小文字･数字の組み合わせが必要です。
- 新しいパスワードを入力すると、パスワードの強度(高、中、低)が表示されます。



3 [適用]

次回のログイン時から、新しいWebUIパスワードが適用されます。

バックアップと復元

WebUIの設定内容をログインしているパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。

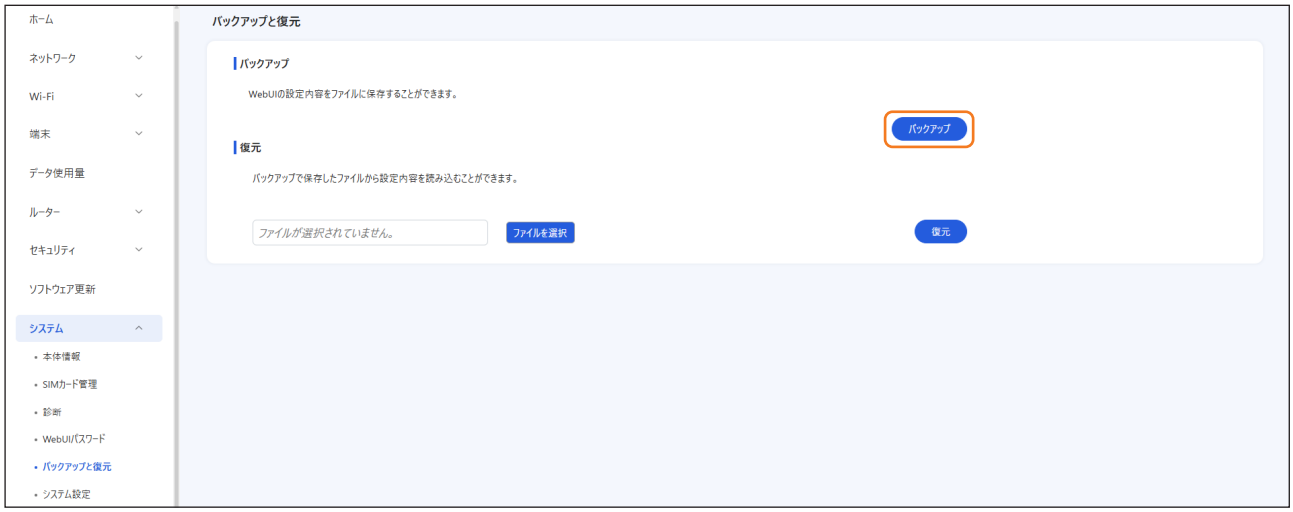
1 「システム」メニューから[バックアップと復元]

「バックアップと復元」画面が表示されます。

■ バックアップ操作

1 [バックアップ]

・お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。また、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。



memo

◎Webブラウザの設定によっては、保存先とファイル名を指定できない場合があります。
◎「通信モード自動切替」のオン／オフの設定は、バックアップを実行しても保存されません。
◎SIMカード管理の設定内容は、バックアップを実行しても保存されません。

■ 復元操作

1 「復元」欄の[ファイルを選択]→読み込むファイルを指定

・お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。

2 [復元]→[はい]

システム設定

■再起動する

本製品を再起動することができます。

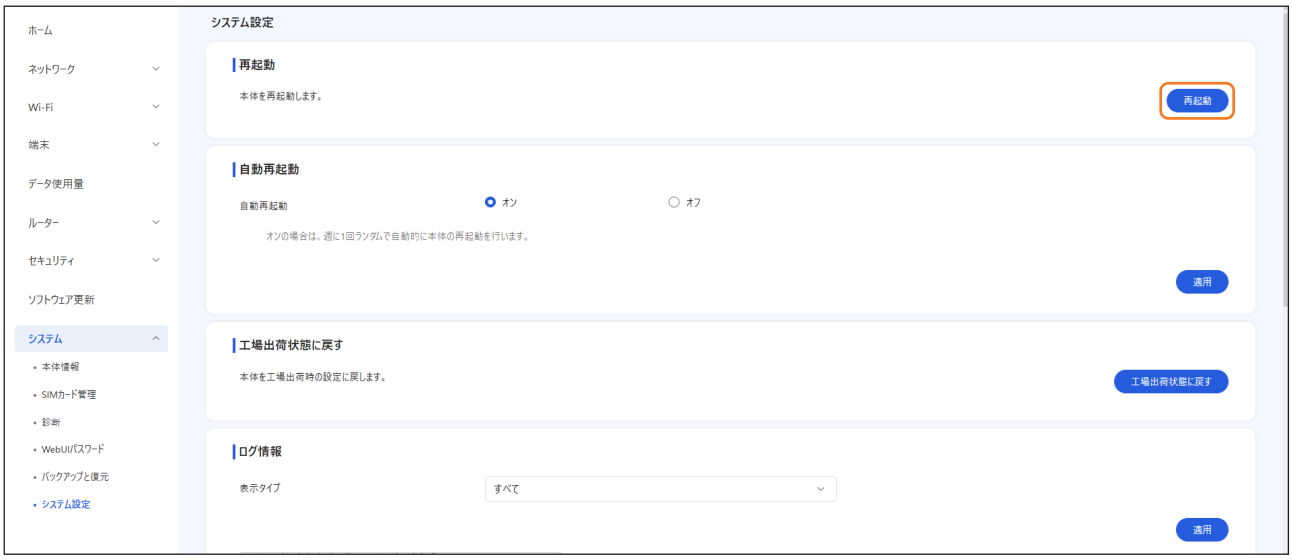
1 「システム」メニューから[システム設定]

「システム設定」画面が表示されます。

2 [再起動]→[はい]

本製品が再起動し、ログイン画面が表示されます。

- ご使用のパソコンによっては、ログイン画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。



■自動再起動を設定する

自動再起動を設定すると、週に1回ランダムで深夜0:00～4:00の間に自動的に本製品の再起動を行います。

- 通信の状況によっては延期される場合があります。

1 「システム」メニューから[システム設定]

「システム設定」画面が表示されます。

2 「自動再起動」の[オン]→[適用]

自動再起動がオンになります。

■工場出荷状態に戻す(リセット)

設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

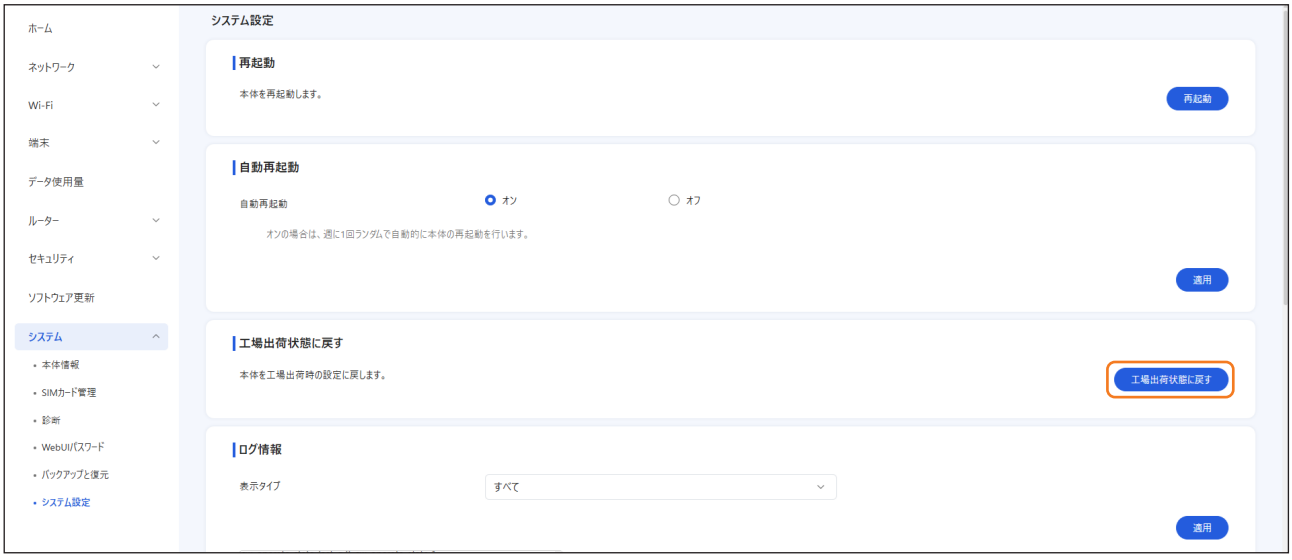
1 「システム」メニューから[システム設定]

「システム設定」画面が表示されます。

2 [工場出荷状態に戻す]→[はい]

本製品が再起動し、ログイン画面が表示されます。

- ご使用のパソコンによっては、ログイン画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。



memo

◎ Wi-Fi名やWi-Fiパスワードも工場出荷時の状態に戻ります。
◎ SIMカード管理の設定内容は、本操作を実行しても工場出荷時の状態に戻りません。

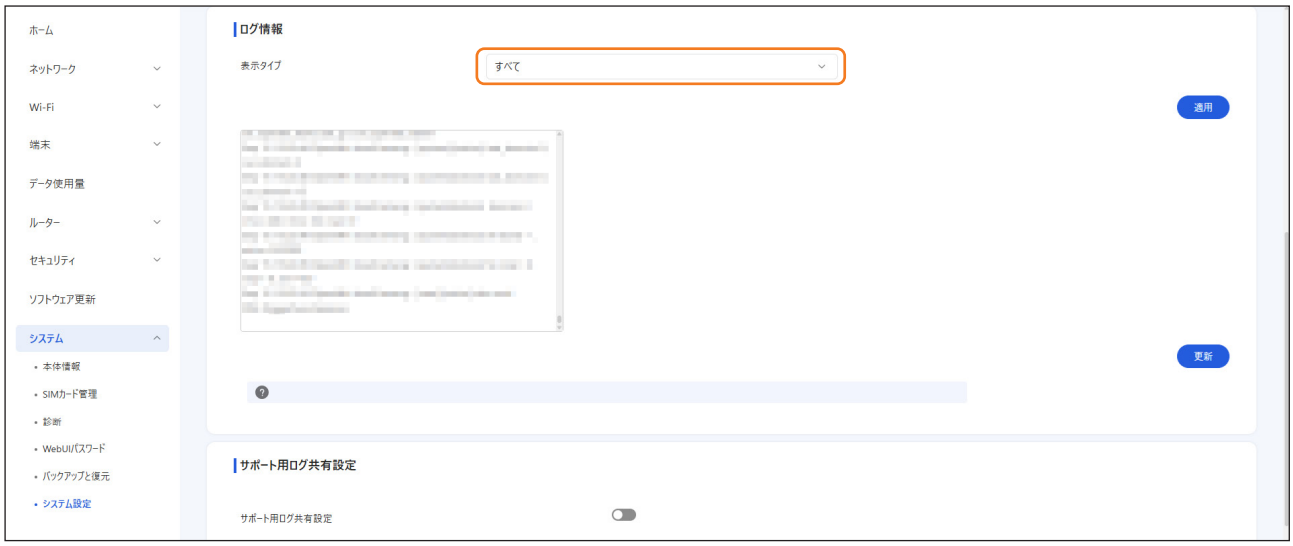
■ログ情報を確認する

本製品の動作ログやシステムイベント、ユーザー操作を確認できます。

1 「システム」メニューから[システム設定]

「システム設定」画面が表示されます。

2 「ログ情報」の表示タイプを設定



設定項目	説明	設定範囲	初期値
表示タイプ	ログ情報の表示タイプを設定します。	すべて、ユーザー操作、システムログ、セキュリティログ	すべて

3 設定が完了したら[適用]

memo

◎ログ情報を更新するには「更新」をクリックします。

■サポート用ログ共有を設定する

主要なログ情報を送信し、不具合が発生した際の問題解決に役立てることが可能になります。

1 「システム」メニューから[システム設定]

「システム設定」画面が表示されます。

2 「サポート用ログ共有設定」の[ ]をクリックして[ ]にする

サポート用ログ共有設定がオンになります。



付録／索引

付録.....**74**
ソフトウェアを更新する.....74
故障とお考えになる前に.....75
アフターサービス.....75
ディスプレイ メニュー項目／設定項目一覧.....76
WebUI メニュー項目／設定項目一覧.....77
主な仕様.....80
輸出管理規制.....80
知的財産権について.....**81**
商標について.....81
索引.....**82**

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を入手できます。
ディスプレイメニューまたはWebUIで更新(アップデート)の情報を確認したり、ソフトウェアを自動的に更新するように設定したりできます。最新のソフトウェアはダウンロードして更新(アップデート)できます。

■ディスプレイメニューから更新する

1 ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ソフトウェア更新]→[更新があるか確認]

最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。最新のソフトウェアがない場合は、現在のソフトウェアが最新であることが表示されます。



2 新しいソフトウェアがある場合は、画面の指示に従って操作する

更新(アップデート)に成功すると、更新が完了したことをお知らせする通知が表示されます。

memo

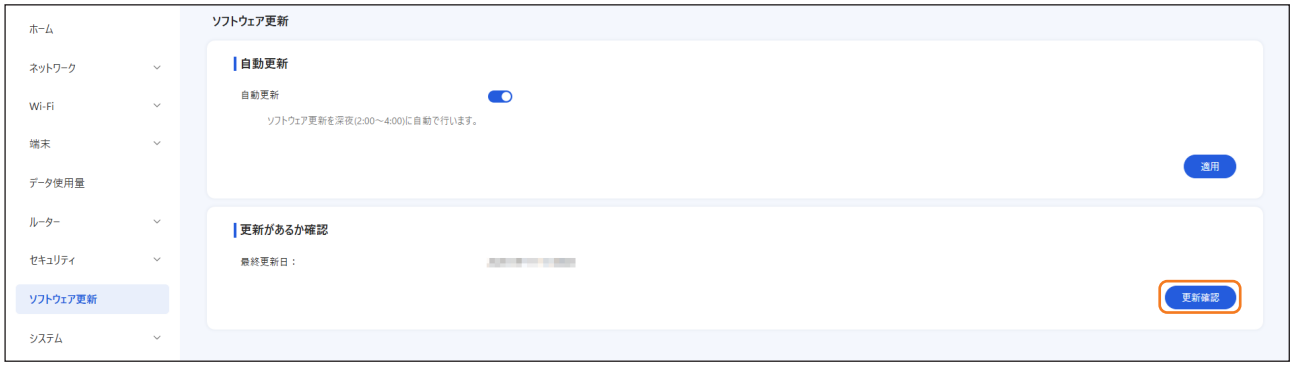
自動更新を設定する

◎ホーム画面を上にスワイプ→[設定]→[ソフトウェア更新]→[自動更新]→「自動更新」の[ ]をタップして[ ]にすると、ソフトウェアの更新が可能なときは深夜の時間帯(2:00～4:00)に自動的に更新されるように設定できます。

■WebUIから更新する

1 ホーム画面でメニュー一覧の[ソフトウェア更新]→[更新確認]

最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。最新のソフトウェアがない場合は、現在のソフトウェアが最新であることが表示されます。



2 新しいソフトウェアがある場合は、画面の指示に従って操作する

更新(アップデート)に成功すると、更新が完了したことをお知らせする通知が表示されます。

memo

自動更新を設定する

◎ソフトウェア更新画面で「自動更新」の[ ]をクリックして[ ]にする→[適用]と操作すると、ソフトウェアの更新が可能なときは深夜の時間帯(2:00～4:00)に自動的に更新されるように設定できます。

■ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェアのバージョンはディスプレイメニューまたはWebUIの「本体情報」で確認できます。更新(アップデート)に失敗した場合は、電波状況の良い場所で再度実行してください。
- 本製品はソフトウェア更新のため、必要な製品情報を収集します。詳細はWebUIのプライバシーポリシーをご確認ください。

■ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

項番	こんなときは	ご確認ください	参照
1	電源が入らない。	付属のACアダプタをご使用ください。	P.14
2	無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続できない。	本製品の電源が入っていることを確認してください。	P.14
		無線LAN(Wi-Fi®)端末の無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになっていることを確認してください。	P.23、24、26、28
		正しいWi-Fiパスワードを設定しているか、確認してください。Wi-Fiパスワードを忘れた場合は設定し直し、もう一度接続の操作を行ってください。また、無線LAN(Wi-Fi®)端末によっては、WPA2/WPA3の暗号化方式に対応していない場合があります。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書をご確認ください。	P.49
		WPS機能で接続できない場合は、無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書などを参照してください。それでも接続できない場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を手動で設定する必要があります。	P.24
3	インターネットへの接続に失敗した。	サービスエリア内であることをご確認ください。	P.12
		電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところでもう一度接続してください。	P.12
		時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。	—
		WebUIを起動し、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。	P.42
4	通信がすぐに切れる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。	P.12
		本製品とパソコンなどが、無線LAN(Wi-Fi®)またはEthernet ケーブル(試供品)により正しく接続されていることを確認してください。	P.26、28、29
		無線LAN(Wi-Fi®)端末によっては、一定時間データ通信が行われないと通信機能が停止する場合があります。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書をご確認ください。	—
		本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末を無線LAN(Wi-Fi®)で接続している場合には、本製品を再起動してください。	P.71
		本製品とパソコンをEthernet ケーブル(試供品)で接続している場合には、本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください。 上記の操作を行っても接続できない場合は、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。	P.29
5	通信速度が遅く感じる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。	P.12
		接続先が混雑している場合があります。時間をおいて再度試してください。	—
6	データ使用量が表示されない、または正しく表示されない。	ネットワークと時刻情報を同期できなかった場合、累計(カウント)を開始した日からの合計)のデータ使用量が表示されます。時刻情報を同期できると、当月のデータ使用量が表示されます。	P.57
7	Ethernet ケーブル(試供品)で接続したパソコンが本製品を認識しない。	本製品がEthernet ケーブル(試供品)で正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。	P.29
		本製品をパソコンから一度取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。	—
8	本製品の設定を購入時の状態に戻したい。	底面のリセットボタンで本製品をリセットしてください。 すべての設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。※1	P.15
		ディスプレイメニューまたはWebUIから本製品をリセットしてください。 すべての設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。※1	P.41、71

※1:SIMカード管理の設定内容は、本操作を実行しても工場出荷時の状態に戻りません。

アフターサービス

■修理を依頼されるときは

修理についてはご契約されたWiMAX事業者までお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
◎本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
◎Speed Wi-Fi HOME 5G L14本体以外の付属品は無償修理保証の対象外です。

■補修用性能部品について

当社はこのSpeed Wi-Fi HOME 5G L14本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■SIMカードについて

SIMカードは、ご契約された通信事業者からお客さまにお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。

ディスプレイ メニュー項目／設定項目一覧

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
Wi-Fi		
QRコードで接続	−	−
WPS	オン、オフ	オフ
Wi-Fi設定お引越し	オン、オフ	オフ
2.4GHz Wi-Fi名	※1	※2
2.4GHz Wi-Fiパスワード	※1	※2
5GHz Wi-Fi名	※1	※2
5GHz Wi-Fiパスワード	※1	※2
情報		
データ使用量		
データ使用量	−	−
通知するデータ使用量	1～999GB	29GB
通知設定	通知する、通知して通信を停止する、通知しない	通知する
本体情報	−	−
WebUI情報	−	−
設定		
QRコードで接続	−	−
WPS	オン、オフ	オフ
Wi-Fi設定お引越し	オン、オフ	オフ
2.4GHz Wi-Fi名	※1	※2
2.4GHz Wi-Fiパスワード	※1	※2
2.4GHz セキュリティ方式	WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3-SAE、WPA2-PSK、なし（オープン）	WPA2-PSK/WPA3-SAE
5GHz Wi-Fi名	※1	※2
5GHz Wi-Fiパスワード	※1	※2
5GHz セキュリティ方式	WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3-SAE、WPA2-PSK、なし（オープン）	WPA2-PSK/WPA3-SAE
Wi-Fi周波数		
2.4GHz	オン、オフ	オン
5GHz	オン、オフ	オン
5GHz設定	屋内、屋内（W52のみ）、屋外	屋内（W52のみ）
ゲストWi-Fi※3	オン、オフ	オフ
動作モード	自動モード、ハイブリッドモード、ブリッジモード	自動モード
モバイルデータ	オン、オフ	オン
通信モード	スタンダードモード、プラスエリアモード	スタンダードモード
ネットワークモード	5G（推奨）、4G	5G（推奨）
PINロック※4	オン、オフ	オフ
APN	※5	Internet
データ使用量		
データ使用量	−	−
通知するデータ使用量	1～999GB	29GB
通知設定	通知する、通知して通信を停止する、通知しない	通知する
本体情報	−	−
WebUI情報	−	−
画面オフ時間	15秒、30秒、60秒、120秒	30秒
Language	日本語、English、简体中文、한국어	日本語
ソフトウェア更新		
自動更新	オン、オフ	オン
再起動	−	−
工場出荷状態に戻す	−	−

※1：ディスプレイメニューからは変更できません。変更する場合はWebUIをご利用ください。
※2：お買い上げ時のWi-Fi名とWi-Fiパスワードについては、同梱の「Wi-Fi初期設定（シール）」、または本製品の底面を参照してください。
※3：ゲストWi-FiのWi-Fi名の確認方法については、「ゲストWi-Fi」（▶P.51）を参照してください。
※4：お買い上げ時のPINコードとPINロック解除コード（PUKコード）については、「PINコードについて」（▶P.7）を参照してください。
※5：ディスプレイメニューからは追加できません。追加する場合はWebUIをご利用ください。

WebUI メニュー項目／設定項目一覧

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
ネットワーク		
モバイルネットワーク		
通信モード	スタンダードモード、プラスエリアモード	スタンダードモード
プラスエリアモード制限	オン、オフ	オフ
ネットワークモード	5G（推奨）、4G	5G（推奨）
通信モード自動切替	オン、オフ	オフ
時間切り替え	オン、オフ	オフ
現在のプロファイル	−	Internet
プロファイル	お買い上げ時に登録されているプロファイル以外に最大9件※1	Internet
プロファイル名	最大63文字までの半角英数字と半角記号（「.」「!」「#」「(」「)」「*」「+」「%」「-」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」「:」「,」「.」）	（なし）
APN（接続先情報）	最大63文字までの半角英数字と半角記号（「.」「-」）	（なし）
ユーザー名	最大45文字までの半角英数字と半角記号（「@」「.」「-」「_」「/」）	（なし）
パスワード	最大16文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「$」「%」「&」「(」「)」「*」「+」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「>」「=」「?」「@」「[」「]」「_」「{」「}」）	（なし）
認証方式	CHAP、PAP	CHAP
IPタイプ	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6
デフォルトとして設定	チェックあり、チェックなし	チェックなし
電波強度測定		
測定履歴	−	−
動作モード	自動モード、ハイブリッドモード、ブリッジモード	自動モード
Wi-Fi		
Wi-Fi設定		
2.4GHz	オン、オフ	オン
5GHz	オン、オフ	オン
バンドステアリング	オン、オフ	オフ
MLO	オン、オフ	オフ
2.4GHz		
Wi-Fi名（SSID）	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「}」「~」「（半角スペース）」）	※2
Wi-Fi名を非表示にする	チェックあり、チェックなし	チェックなし
セキュリティ方式	なし（オープン）、WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3- SAE	WPA2-PSK/WPA3-SAE
パスワード	8文字以上、最大32文字までの半角英数字（大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です）と半角記号（「!」「#」「$」「*」「+」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」）※3	※2
ネットワーク分離	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレーター	オン、オフ	オフ
管理フレームを保護	オン、オフ	オン
5GHz		
Wi-Fi名（SSID）	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「}」「~」「（半角スペース）」）	※2
Wi-Fi名を非表示にする	チェックあり、チェックなし	チェックなし
セキュリティ方式	なし（オープン）、WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3- SAE	WPA2-PSK/WPA3-SAE
パスワード	8文字以上、最大32文字までの半角英数字（大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です）と半角記号（「!」「#」「$」「*」「+」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」）※3	※2
ネットワーク分離	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレーター	オン、オフ	オフ
管理フレームを保護	オン、オフ	オン
ゲストWi-Fi		
ゲストWi-Fi	オン、オフ	オフ
使用可能時間	制限なし、2時間、4時間、8時間、12時間	制限なし
2.4GHz		
Wi-Fi名（SSID）	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「}」「~」「（半角スペース）」）	※4
Wi-Fi名を非表示にする	チェックあり、チェックなし	チェックなし
セキュリティ方式	なし（オープン）、WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3- SAE	WPA2-PSK/WPA3-SAE
パスワード	8文字以上、最大32文字までの半角英数字（大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です）と半角記号（「!」「#」「$」「*」「+」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」）※3	（製品ごとに異なる）
管理フレームを保護	オン、オフ	オン
5GHz		
Wi-Fi名（SSID）	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「}」「~」「（半角スペース）」）	※4
Wi-Fi名を非表示にする	チェックあり、チェックなし	チェックなし
セキュリティ方式	なし（オープン）、WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3- SAE	WPA2-PSK/WPA3-SAE
パスワード	8文字以上、最大32文字までの半角英数字（大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です）と半角記号（「!」「#」「$」「*」「+」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「~」）※3	（製品ごとに異なる）
管理フレームを保護	オン、オフ	オン
WPS		
WPS（Wi-Fi 2.4GHz）		
Wi-Fi名	（リスト項目）	※2
WPS（Wi-Fi 5GHz）		
Wi-Fi名	（リスト項目）	※2

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
詳細設定		
Wi-Fi互換モード	オン、オフ	オフ
2.4GHz詳細設定		
通信規格	802.11b/g/n、802.11b/g/n/ax、802.11b/g/n/ax/be	802.11b/g/n/ax/be
帯域幅	20MHz、40MHz、20MHz/40MHz	40MHz
Wi-Fiチャンネル	自動、チャンネル1～チャンネル13	自動
最大接続可能数	－	64
5GHz詳細設定		
通信規格	802.11aのみ、802.11a/n、802.11a/n/ac、802.11a/n/ac/ax、802.11a/n/ac/ax/be	802.11a/n/ac/ax/be
帯域幅	20MHz、20MHz/40MHz、20MHz/40MHz/80MHz、20MHz/40MHz/80MHz/160MHz	20MHz/40MHz/80MHz/160MHz
Wi-Fiチャンネル	屋内、屋内（W52のみ）、屋外	屋内（W52のみ）
最大接続可能数	－	64
Wi-Fiカバレッジ	狭い、標準、広い	広い
端末		
接続中の端末		
Wi-Fi接続端末	－	－
有線接続端末	－	－
MACアドレスフィルタ	許可リスト、拒否リスト	拒否リスト
端末名	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「$」「&」「:」「*」「'」「(」「)」「-」「,」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「[」「]」「{」「}」「`」「（半角スペース）」）	（なし）
MACアドレス	00～FFの6組の番号	（なし）
保護者向け管理	－	－
クイックコントロール		
インターネット接続一時停止	今すぐ停止、10分後に停止、30分後に停止、60分後に停止	－
すべて許可	オン、オフ	オフ
インターネット接続可能時間設定	00:00～23:59 日～土	（なし）
インターネット接続不可リスト	－	（なし）
ヘルプ	－	－
オフライン端末	－	－
データ使用量		
データ使用量（1ヶ月）		
プラスエリアモード	－	－
合計	－	－
データ使用量設定		
表示最大使用量	30～999GB	30GB
カウント開始日	1～31	1
通知設定	通知しない、通知する、通知して通信を停止	通知する
通知するデータ使用量設定	1～999GB	29GB
ルーター		
DHCP		
IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.0.1
サブネットマスク	0～255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバー	オン、オフ	オン
DHCP IPプール	0～255の4組の番号	192.168.0.2 -192.168.0.253
DHCPリース時間	1～65535	24
MTU/MSSサイズ		
MTU	1300～1440	1440
MSS	1260～1400	1400
DHCP固定割り当て設定		
MACアドレス	00～FFの6組の番号	（なし）
IPアドレス	0～255の4組の番号	（なし）
DDNS設定	オン、オフ	オフ
DDNSモード	手動、自動	自動
ダイナミックDNSプロバイダー	no-ip.com、zoneedit.com、dyndns.org、freedns.afraid.org	no-ip.com
ユーザー名	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「`」「`」「!」「@」「#」「$」「%」「^」「&」「*」「(」「)」「_」「-」「+」「=」「{」「[」「}」「]」「\」「:」「;」「"」「'」「<」「,」「>」「.」「?」「/」）	（なし）
パスワード	最大30文字までの半角英数字と半角記号（「`」「`」「!」「@」「#」「$」「%」「^」「&」「*」「(」「)」「_」「-」「+」「=」「{」「[」「}」「]」「\」「:」「;」「"」「'」「<」「,」「>」「.」「?」「/」）	（なし）
ドメイン名	－	（なし）
DDNS状態	－	－
VPNクライアント		
VPNタイプ	PPTP、L2TP、GRE、IPsec	PPTP
サーバーのIPアドレス/URL	0～255の4組の番号／URL	（なし）
ユーザー名	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「$」「&」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「%」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「`」「（半角スペース）」）	（なし）
パスワード	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「$」「&」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「%」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「}」「`」「（半角スペース）」）	（なし）
自動的に接続	チェックあり、チェックなし	チェックあり
VPN接続ステータス	－	－
ネットワーク診断		
ネットワーク診断		
IPアドレス/URL	0～255の4組の番号／URL	（なし）
アクション選択	PING、トレースルート	PING
PINGログ情報	－	－
トレースルートログ情報	－	－

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
セキュリティ		
フィルタリング設定		
フィルタリング設定	オン、オフ	オフ
インターネット接続	許可、拒否	許可
IPv4フィルタリングリスト／IPv6フィルタリングリスト		
MACアドレス	00～FFの6組の番号	（なし）
送信元IPアドレス	0～255の4組の番号	（なし）
送信先IPアドレス	0～255の4組の番号	（なし）
プロトコル	ALL、TCP、UDP、ICMP	ALL
ステータス	接続する、接続しない	接続しない
コメント	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」）	（なし）
ポートマッピング		
ポートマッピング	オン、オフ	オフ
ポートマッピングリスト		
送信元ポート	1～65000	（なし）
送信先IPアドレス	0～255の4組の番号	（なし）
送信先ポート	1～65000	（なし）
プロトコル	TCP+UDP、TCP、UDP	TCP+UDP
コメント	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」）	（なし）
ポート転送		
ポート転送	オン、オフ	オフ
ポート転送リスト		
IPアドレス	0～255の4組の番号	（なし）
送信元ポート範囲	1～65535	（なし）
プロトコル	TCP+UDP、TCP、UDP	TCP+UDP
コメント	最大32文字までの半角英数字と半角記号（「!」「#」「(」「)」「+」「-」「.」「/」「%」「=」「?」「@」「^」「_」「{」「|」「}」「~」）	（なし）
システムセキュリティ		
WAN側のPING応答	オン、オフ	オフ
その他		
UPnP	オン、オフ	オフ
DMZ	オン、オフ	オフ
IPアドレス	0～255の4組の番号	（なし）
NAT	オン、オフ	オン
SIP ALG	オン、オフ	オン
ソフトウェア更新		
自動更新	オン、オフ	オン
更新があるか確認	−	−
システム		
本体情報	−	−
SIMカード管理		
SIMカードのPINロック	オン、オフ	オフ
現在のPINコード	4～8桁の数字	（なし）※5
新しいPINコード	4～8桁の数字	（なし）
新しいPINコード（再入力）	4～8桁の数字	（なし）
診断	−	−
WebUIパスワード		
現在のパスワード	8文字以上、最大32文字までの半角英数字（大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です）と半角記号（「!」「#」「$」「*」「+」「,」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「|」「}」「~」「(」「)」「/」「（半角スペース）」）	（製品ごとに異なる）
新しいパスワード	8文字以上、最大32文字までの半角英数字（大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です）と半角記号（「!」「#」「$」「*」「+」「,」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「|」「}」「~」「(」「)」「/」「（半角スペース）」）	（なし）
新しいパスワード（再入力）	8文字以上、最大32文字までの半角英数字（大文字・小文字・数字の組み合わせが必要です）と半角記号（「!」「#」「$」「*」「+」「,」「-」「.」「%」「:」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」「{」「|」「}」「~」「(」「)」「/」「（半角スペース）」）	（なし）
バックアップと復元		
バックアップ	−	−
復元	−	−
システム設定		
再起動	−	−
自動再起動	オン、オフ	オン
工場出荷状態に戻す	−	−
ログ情報	−	−
表示タイプ	すべて、ユーザー操作、システムログ、セキュリティログ	すべて
サポート用ログ共有設定	オン、オフ	オフ

※1：お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、編集／削除はできません。
※2：お買い上げ時のWi-Fi名とWi-Fiパスワードについては、同梱の「Wi-Fi初期設定（シール）」、または本製品の底面を参照してください。
※3：画面には文字数の「●」で表示されます。「パスワードを表示」にチェックを付けると、確認できます。
※4：ゲストWi-FiのWi-Fi名の確認方法については、「ゲストWi-Fi」（▶P.51）を参照してください。
※5：お買い上げ時のPINコードとPINロック解除コード（PUKコード）については、「SIMカード管理」（▶P.68）を参照してください。

主な仕様

■本体

外形寸法	約100(W)×191(H)×100(D)mm
質量	約528g
LAN／WANポート	2.5GBASE-T(×2)
電源	AC100V～240V　50／60Hz　DC12V
消費電力	最大18W
環境条件	動作周囲温度範囲:0℃～40℃ 動作周囲湿度範囲:5%～90%

■WAN

通信方式	5G、LTE、WiMAX 2+

■LAN

通信方式	Wi-Fi(IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax/be準拠)
対応周波数	2.4GHz(1～13ch)、5GHz(W52、W53、W56)
Wi-Fiセキュリティ方式	なし(オープン) WPA2-PSK WPA2-PSK/WPA3-SAE WPA3-SAE
最大同時接続数	無線LAN(Wi-Fi®):最大128台※1 LAN:最大2台※2 合計:最大130台※2

※1:Wi-Fi上での処理性能の制限により、同時に接続できる端末は最大128台までとなります。
※2:LAN／WANポートにスイッチングハブ等を接続してご利用いただくことで、Wi-Fi接続の接続台数を含め、最大252台まで理論上は接続可能です。ただし、各端末の通信量などの条件により、252台の端末の通信を保証するものではありません。

■ACアダプタ

入力	AC100～240V 0.8A 50／60Hz
出力	DC12V 2.0A
外形寸法	約32(W)×86(H)×51(D)mm(コード長さ約1.2m)
質量	約138g
環境条件	動作周囲温度範囲:0℃～40℃ 動作周囲湿度範囲:5%～90%

■Ethernet ケーブル(試供品)

カテゴリ	CAT5e
コード長さ	約1.5m
質量	約48g

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- OperaはOpera Software ASAの商標または登録商標です。Operaに関する詳細については、http://jp.opera.com/ をご覧ください。
- Mac、Macintosh、Safari、iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi®、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Protected Setup™とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ZTE、ZTE中興、ZTE Corporationの名称、ロゴは、中国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。本文中では、®マーク、TMマークは省略している場合があります。

索引

数字／アルファベット

5GHz帯の使用について 22
APN ..... 40、46
DDNS設定 59
DFS機能 22
DFSチェック 22
DHCP 58
DHCP固定割り当て設定 59
DMZ 65
Ethernet ケーブル(試供品) ..... 1、15、29
LAN接続
- Mac 29
- Windowsパソコン 29

MACアドレスフィルタ 55
NAT 66
PINロック ..... 39、68
QRコード接続 ..... 23、32
SIMカード 13
SIMカード管理 68
SIP ALG 66
UPnP 65
VPNクライアント 60
WebUI ..... 36、42
- ホーム画面 43
- ログイン画面 42

WebUIパスワード 69
Wi-Fi ..... 32、48
Wi-Fi周波数 37
Wi-Fi接続 22
Wi-Fi設定 49
Wi-Fi設定お引越し機能 33
Wi-Fiパスワード ..... 34、49
Wi-Fi名 ..... 22、34、49
WPS 52
WPS接続 ..... 24、33

あ

アフターサービス 75
オフライン端末 56
主な仕様 80

か

各部の名称と機能 11
画面オフ時間 40
基本的な操作 18
ゲストWi-Fi ..... 38、51
工場出荷状態 ..... 15、41、71

さ

再起動 ..... 41、71
サポート用ログ共有 72
システム 67
システムセキュリティ 64
自動再起動 71
手動設定接続 ..... 24、25
詳細設定 53
情報 35
診断 69
ステータスアイコン 12
セキュリティ 62
セキュリティ方式 37
接続中の端末 54
設定 37
設定項目一覧 77
- WebUI 77
- ディスプレイメニュー 76

ソフトウェア更新 74
- WebUI 74
- ディスプレイメニュー 74

た

タッチパネル 18
端末 54
通信モード ..... 39、44
- スタンダードモード ..... 39、44
- プラスエリアモード ..... 39、44

通信モード自動切替 45
ディスプレイ表示 12
ディスプレイメニュー 32
データ使用量 ..... 35、57
電源を入れる／切る 14
電波強度測定 47
動作環境 16
動作モード 47
- 自動モード ..... 38、47
- ハイブリッドモード ..... 38、47
- ブリッジモード ..... 38、47

な

ネットワーク 44
ネットワーク診断 61
ネットワークモード ..... 39、45

は

バックアップと復元 70
表示言語 ..... 41、43
フィルタリング設定 62
プロファイル 46
ポート転送 64
ポートマッピング 63
ホーム画面 12
保護者向け管理 55
ボタン操作 12
本体情報 ..... 36、67

ま

無線LAN(Wi-Fi®)接続 ..... 22、23
- iPhone／iPad ..... 23、25
- Mac 28
- QRコード 23
- Windowsパソコン 26
- WPS対応無線LAN(Wi-Fi®)端末 24
- 手動設定 24
- スマートフォン ..... 23、24

メニュー項目一覧 77
- WebUI 77
- ディスプレイメニュー 76

モバイルデータ 38
モバイルネットワーク 44

ら

リセット ..... 15、71
ルーター 58
ログ情報 72

お問い合わせ先について

ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

UQ WiMAXをご契約の場合

■ Webチャットによるお問い合わせ

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！
AIが24時間素早く回答、コミュニケーターが詳しくお応えします。
URL：https://www.uqwimax.jp/chat/

UQ WiMAX以外のWiMAX事業者をご契約の場合

事業者一覧はこちら
URL：https://www.uqwimax.jp/wimax/shoplist/mvno/

2026年11月第1版　製造元：ZTE Corporation　輸入元：ZTEジャパン株式会社